

# 文京区地球温暖化対策地域推進計画に基づく実績報告

## 1. 文京区地球温暖化対策地域推進計画の概要

文京区地球温暖化対策地域推進計画（以下「計画」という。）は、区民・団体、事業者、区のあらゆる主体で取り組み、地域に係る気候変動対策を総合的、計画的に進め、地球温暖化防止に貢献することを目的として、2010（平成 22）年 3 月に策定し、2015（平成 27）年 3 月に計画の中間見直しを行いました。そして、2020（令和 2）年 3 月には、国内外の変化への対応を図り、これまでの計画の進捗状況と課題等を踏まえ、計画の目標や実施していく施策を定めるため改定を行いました。

本計画は、「文京区環境基本計画」の基本目標の 1 つである「未来へつなぐ脱炭素のまち～CO<sub>2</sub>削減で地球温暖化防止～」を実現するための施策等を定める個別計画として位置づけます。

計画期間は、国の温室効果ガス排出削減目標の年度を考慮し、2020（令和 2）年度から 2030（令和 12）年度までの 11 年間です。

また、国の「地球温暖化対策実行計画」と整合を図り、削減目標の基準年度は 2013（平成 25）年度、目標年度は 2030（令和 12）年度としています。

図 1-1 計画の方向性とクールアース文京都市ビジョン

＜文京区地球温暖化対策地域推進計画の方向性とクールアース文京都市ビジョン＞

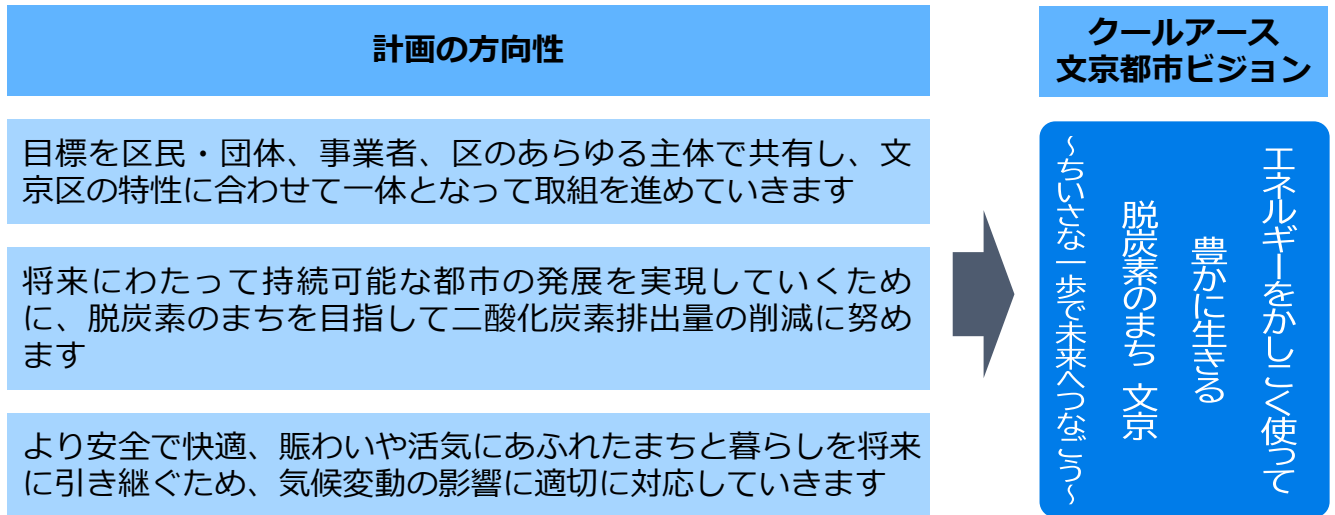


図 1-2 クールアース文京都市ビジョンのイメージ



## 2. 二酸化炭素削減目標と進捗状況

本計画で定める削減目標は、文京区全体の二酸化炭素排出量の総量を基準年度比で 28%削減することです。これに加えて、区の二酸化炭素排出量に占める割合が大きい民生（家庭）部門と民生（業務）部門について、部門別の目標が設定されています。

図 2-1 二酸化炭素排出量の削減目標

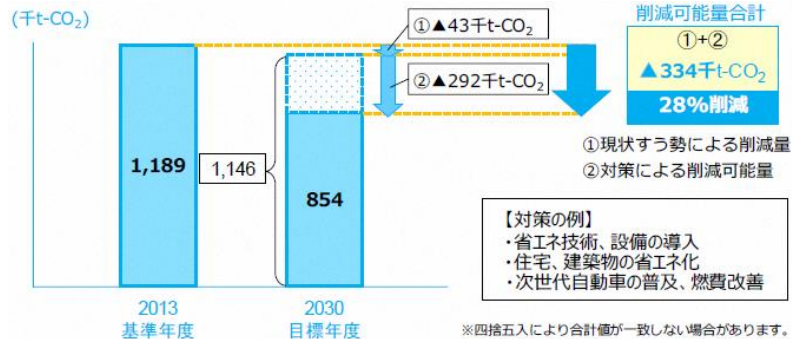


表 2-1 削減目標

総量目標	2013(平成 25)年度比 削減率	▲28%
部門別目標	民生(家庭)部門 1世帯当たり	▲794kg-CO <sub>2</sub> (削減率 ▲28%)
	民生(業務)部門 床面積 100㎡当たり	▲3,585kg-CO <sub>2</sub> (削減率 ▲34%)

### 2.1 進捗評価方法

#### <総量目標>

基準年度の二酸化炭素排出量 1,189 千 t-CO<sub>2</sub>から、28%削減後の二酸化炭素排出量 854 千 t-CO<sub>2</sub>へ目安線を引き、各年度の実績値が目安線より下回っているかを把握します。目安線より下回った場合◎、目安に対してほぼ同等の場合○、目安線を上回った場合は△とします。

#### <部門別目標>

民生（家庭）部門、民生（業務）部門も同様に基準年度値から目安値への参考線を引き、各年度の実績値が目安線より下回っているか把握します。目安線より下回った場合◎、おおむね目安線通りの場合○、目安線を上回った場合は△とします。

表 2-2 目標の進捗評価方法

		現状の評価
推移（傾向）	2030 年度目安に対して下回った（良好）	◎
推移（傾向）	2030 年度目安に対してほぼ同等	○
推移（傾向）	2030 年度目安に対して上回った（不良）	△

図 2-2 削減目標達成状況（総量）イメージ図



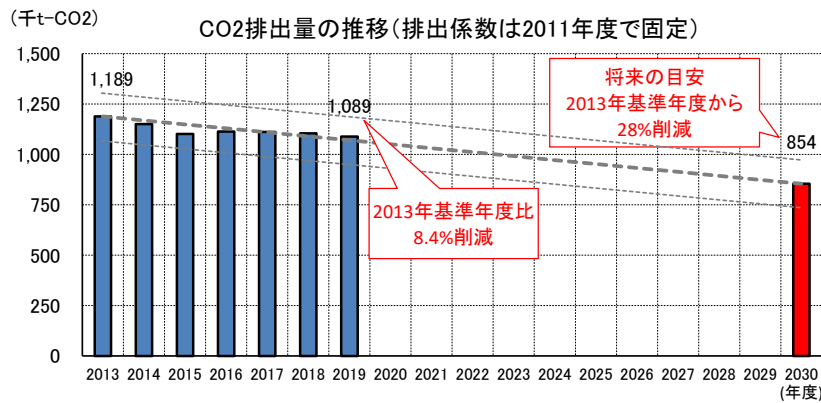
## 2.2 進捗結果

文京区における二酸化炭素総排出量は、オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」による「温室効果ガス排出量算定手法に関する説明書」（以下、温室効果ガス排出量算定ソフト）を基に把握しています。2019（令和元）年度の二酸化炭素排出量（総量）は、前年度より16千t-CO<sub>2</sub>減少し、基準年度（2013（平成25）年度）比で8.4%の減少となりました。目安線よりやや上回っていますが、概ね順調に減少しています。

2019（令和元）年度の民生（家庭）部門1世帯当たり二酸化炭素排出量と民生（業務）部門延べ床面積100㎡当たり二酸化炭素排出量はともに目安線を下回り順調に減少しています。民生（家庭）部門1世帯当たり二酸化炭素排出量は2013（平成25）年度比で316（kg-CO<sub>2</sub>）、民生（業務）部門延べ床面積100㎡当たり二酸化炭素排出量は2013（平成25）年度比で1,897（kg-CO<sub>2</sub>）の削減となっています。

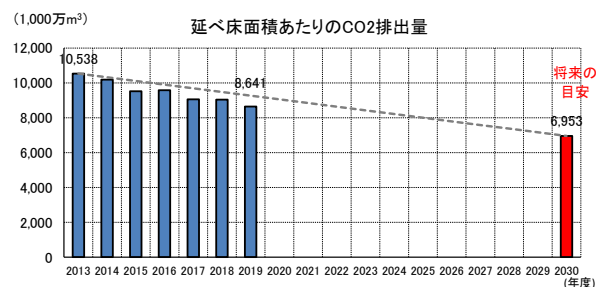
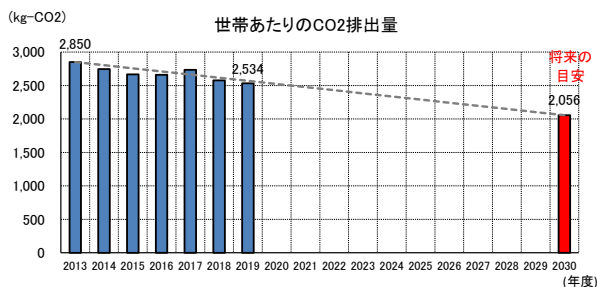
総量目標	基準年度			実績	基準年度比削減率(%)	評価	将来の目安
	2013	2017	2018				
2013(平成25)年度比削減量(千t-CO <sub>2</sub> )	1,189	1,112	1,105	1,089	▲8.4%	○	854

図 2-3 総量目標の推移



部門別目標	基準年度			実績	基準年度比	評価	将来の目安
	2013	2017	2018				
民生（家庭）部門1世帯当たり二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	2,850	2,734	2,578	2,534	▲316	◎	▲794
民生（業務）部門延べ床面積100㎡当たり二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	10,538	9,059	9,045	8,641	▲1,897	◎	▲3,585

図 2-4 部門別目標の推移



## 【参考指標】

指標に使用しているデータは温室効果ガス排出量算定ソフトから把握していますが、国等の統計公表の時期により実績を把握できるのが、約3年遅れとなります。前計画では、区域における主要なエネルギー消費量である、直近年度の電力消費量と都市ガス消費量の実践値を事業者の協力を得て入手することで最新の状況を把握していました。しかし電力小売全面自由化、都市ガス小売全面自由化が施行されたことから、このデータの入手が困難となりました。

エネルギー消費量の実績値の入手が困難となったため、エネルギー消費量を独自の推計により算出し、エネルギー消費量の参考指標として示します。

### 1. 区民（民生（家庭）部門）

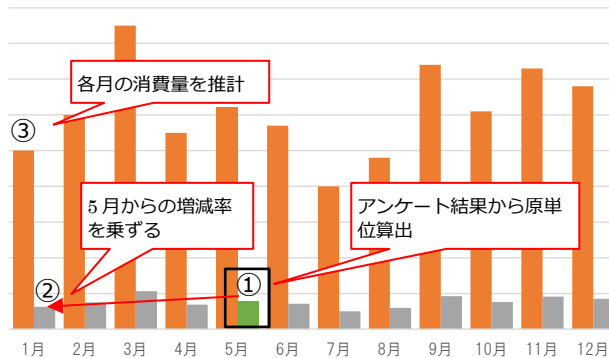
《算出の考え方》

毎年実施する「区民アンケート」の5月分の電力・都市ガス消費量を拡大推計し、民生（家庭）部門の電力・都市ガス消費量を推計

以下①～③のとおり、戸建て住宅、集合住宅それぞれ推計し、足し合わせる

- ① アンケート結果に基づき、5月の世帯当たりの電力・都市ガス消費原単位を作成
- ② 「家庭におけるCO2実態調査」の統計データに基づき、関東甲信地域の都市階級1（政令指定都市、特別区、県庁所在）における月別の電力・都市ガス消費量について、複数年における5月からの平均的な増減率を設定し、文京区における5月以外の月における世帯当たりの電力・都市ガス消費原単位を算出
- ③ ②の世帯当たりの電力・都市ガス消費原単位と推計対象年度の4月1日時点の世帯数を乗じることで、民生(家庭部門)における電力・都市ガス消費量を推計。

図 算出のイメージ



《推計結果》

表 2-3 区民（民生（家庭）部門）の電力消費量（参考値及び実績値）

電力消費量 (MWh)	2017	2018	2019	2020	2021	2022
参考値（推計値）	-	-	432,991	432,256	443,133	448,750
オール東京実績値	525,875	511,926	504,933	-	-	-

表 2-4 区民（民生（家庭）部門）の都市ガス消費量（参考値及び実績値）

都市ガス消費量 (千 $\text{m}^3$ )	2017	2018	2019	2020	2021	2022
参考値（推計値）	-	-	47,102	52,896	45,774	40,835
オール東京実績値	38,321	35,941	37,554	-	-	-

## 2.事業者（民生（業務）部門）

### 《算出の考え方》

下記のとおり、大規模事業者、中小規模事業者それぞれ推計し、足し合わせる。

#### ■大規模事業所

事業者のエネルギー消費量自体のデータは、経営上の観点から公表等はされないため、東京都が毎年公表している総量削減義務と排出量取引制度における大規模事業所のエネルギー起源二酸化炭素排出量から電力消費量、都市ガス消費量を推計

- ① オール東京算定ソフトを用いて、民生（業務）部門の複数年におけるエネルギー起源二酸化炭素排出量に占める電力由来、都市ガス由来の二酸化炭素排出量の平均的な割合を設定
- ② 事業者ごとのエネルギー起源二酸化炭素排出量および①電力由来、都市ガス由来の二酸化炭素排出割合を乗じて、電力排出係数、都市ガス排出係数を除算することで電力消費量、都市ガス消費量を推計

#### ■中小規模事業所

- ③ 東京都の地球温暖化対策報告書制度から登録されている区内中小規模事業所の延床面積あたりのエネルギー起源二酸化炭素排出量原単位を作成
- ④ ③事業者ごとの延床面積あたりエネルギー起源二酸化炭素排出量および①電力由来の二酸化炭素排出割合、都市ガス由来の二酸化炭素排出割合を乗じて、電力排出係数、都市ガス排出係数を除算することで延床面積あたりの電力消費量、都市ガス消費量を推計
- ⑤ ④事業者ごとの延床面積あたりの電力消費量、都市ガス消費量から中小規模事業所の延床面積あたりの電力消費量、都市ガス消費量平均値を算出
- ⑥ ⑤中小規模事業者の延床面積あたりの電力消費量、都市ガス消費量平均値に中小規模事業所の延床面積を乗じて電力消費量、都市ガス消費量を推計

### 《推計結果》

表 2-5 事業者（民生（業務）部門）の電力消費量（参考値及び実績値）

電力消費量（MWh）	2017	2018	2019	2020	2021	2022
参考値（推計値）	952,082	881,079	953,603	891,786	-	-
オール東京実績値	1,111,494	1,143,778	1,110,768	-	-	-

表 2-6 事業者（民生（業務）部門）の都市ガス消費量（参考値及び実績値）

都市ガス消費量（千 $\text{m}^3$ ）	2017	2018	2019	2020	2021	2022
参考値（推計値）	34,306	30,967	34,222	26,482	-	-
オール東京実績値	38,955	37,717	37,085	-	-	-

### 3. 文京区における行動計画（アクションプラン）の実施状況

本計画に基づいて 2021（令和 3）年度に本区が実施した主なアクションプランについて、5 つの分野ごとに取組内容をまとめました。

#### 分野1 省エネルギーの推進

##### 1-1 暮らしにおける環境配慮行動

省エネルギー型家庭用機器の導入支援及び情報提供や啓発による日常生活における省エネルギー行動の促進

##### 1-2 事業活動における環境配慮行動

省エネルギー機器導入支援策及び事業活動における省エネルギー行動の促進

##### 1-3 区の率先行動

区有施設における省エネルギー設備・機器等の導入等、建築物における各種省エネルギー対策及び区職員の率先的な環境配慮行動の実践

#### <2021（令和3）年度の主な取組内容>

##### 1-1 暮らしにおける環境配慮行動

- 省エネルギー設備（家庭用燃料電池、蓄電池等）設置助成を行いました。（77件）【環境政策課】
- 区報や区HPで、省エネルギー効果がある移動手段（エコドライブ（急発進をやめる、加減速の少ない運転等））について周知・啓発しました。【環境政策課】
- 自転車シェアリング事業、レンタサイクル事業を実施し、文京区自転車活用推進計画の策定に着手しました。【管理課】
- 区報や区HPで、コミュニティバス「B-ぐる」や電車等の公共交通機関の利用促進を行いました。【区民課】【環境政策課】
- 区HPで電気自動車急速充電スタンド設置について情報提供しました。【環境政策課】
- わが家の省エネチャレンジ事業を実施しました。（32世帯参加）【環境政策課】
- 区報や区HPの推進計画で、環境に配慮した消費者（グリーンコンシューマー）行動の普及促進を行いました。【環境政策課】
- 家庭の日啓発事業で、植物の種を区立小学校全児童へ配布しました。【児童青少年課】

##### 1-2 事業活動における環境配慮行動

- 低炭素建築物の認定を行いました。（207件）【建築指導課】
- 中小企業への省エネルギー促進のための省エネ設備補助・融資あっせんを行いました。（21件）【経済課】
- 東京都の省エネルギー診断について、区HP及びチラシ配架等で周知しました。【環境政策課】
- 学長懇談会において、脱炭素に関する各大学の取組について情報共有を行いました。【環境政策課】

##### 1-3 区の率先行動

- 次世代自動車の導入についてリース更新時に燃費のよい型式に切り替えました。【総務課】
- 区有施設での省エネルギー指導をフォローアップ支援として実施しました。【環境政策課】
- カーボン・オフセット導入を行いました。【環境政策課】
- 区施設への環境に配慮した資材等の活用を行いました。（金富小学校、大塚小学校）【整備技術課】
- 区施設の照明をLED化しました。（久堅児童館）【整備技術課】
- 区施設の空調設備を高効率型空調機へ更新しました。（本駒込南保育園・児童館、久堅保育園・児童館、文京ふるさと歴史館）【整備技術課】
- グリーン購入及び環境配慮契約法の推進を行いました。【環境政策課】

- チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」を活用しました。（アクセス数78,951件、LINEの友だち登録者数7,652名、LINEによる情報提供（プッシュ式）27回）【リサイクル清掃課】
- 地域推進協議会を2回開催しました。【環境政策課】
- クールビズ等（年間を通して室内温度に適した服装（ノーネクタイ等）での執務を推奨）、ノー残業デー、ノー残業デー推進期間を実施しました。【職員課】
- リース機器調達等の際に、省エネ型OA機器を導入できるよう、契約書類の特記事項に記載しました。【情報政策課】
- 不要な照明の消灯、階段の2アップ3ダウンを職員に呼びかけました。【施設管理課】
- コピー用紙の注文票に、参考数値として各フロアの累計注文箱数を掲載して意識高揚を図るとともに、紙類使用量削減に関する通知を発出し、各課に削減への取組強化を依頼しました。【総務課】
- RPA（ロボットによる業務自動化）・AI（人工知能）等の活用による業務改善として、RPAによる超過勤務命令の入力（22係で導入済み）、RPAによる総価単価契約執行処理・検査結果入力・支出命令の入力（6係で導入済み）、全庁の議事録の作成（65件）にAI議事録を活用しました。【情報政策課】

【周知・啓発】

- 毎月の区報や庁内放送で「文京版クールアース・デー」における身近な取組の情報発信をしました。【環境政策課】
- 計画概要版の配布により、省エネの取組等について啓発を行いました。（区立小学校5年生、区立中学校1年生対象）【環境政策課】
- 気候変動対策に関するイベント（クールアースフェア）を、区HP上で各出展団体の展示内容を掲載する形式で開催しました。【環境政策課】
- 環境学習の機会の提供及び人材の育成・活用として、親子環境教室を6回（延べ76名）、環境ライフ講座を7回（延べ176名）開催しました。【環境政策課】
- 次世代を担う子どもたちへの環境教育の推進のため、環境教育教材等を送付しました。（2回）【教育指導課】
- 区HPで家庭や事業所の省エネにつながる東京都等の情報や助成事業を紹介しました。【環境政策課】
- 「明日通信（文京区地球温暖化対策ニュース）」（6回）、「シビックセンターニュース」（2回）を発行し職員への啓発を行いました。【環境政策課・施設管理課】
- 地球温暖化に関する職員研修を実施しました。【環境政策課】

<わが家の省エネチャレンジ事業>

各家庭が省エネライフを3か月間実行し、電気やガスの使用量削減に取り組みます。チャレンジ終了後、電気・ガスの検針表等から、前年の同じ月と比較した削減量と比較します。

参加者募集 わが家の省エネチャレンジ

地球温暖化を防止するには、私たち一人一人のこころがけが大切です。あなたも電気やガスの使用量を削減して、環境にもお財布にも優しい省エネにチャレンジしてみませんか？

**対象者** 文京区に住所を有し、昨年と同じ住所であること。また、世帯の構成人数が昨年と同数又はそれ以上であること。

**募集定数** 100世帯（募集定数に達し次第、終了します。）

**チャレンジ内容** 令和3年8月～令和4年3月の間の、お好きな3か月間で家庭で電気やガスの使用量を削減に取り組みます。

**チャレンジ目標** 取組チャレンジ3月間のうち1月以上、前年同月比1日当たりの電気又はガスの使用量を削減させること。

**申込方法** 取組を開始する月の前月の15日までに下記3条件は全てよりお申し込みください。  
※取組開始日は令和3年7月1日（水）～12月15日（水）  
※取組期間中は毎月15日（水）に検針表を送付してください。  
① 郵便申込書を封筒に入れて下記申込先に郵送または持参。  
② 区ホームページより申込。

チャレンジ目標を達成した方には、お品物をお渡しします！  
（お渡しはご使用のわが家の省エネライフ一冊と削減量証明書が必須です。）

※チャレンジ期間は430日以内です。【ソーラーパネル】

【申込先・お問い合わせ先】  
文京区環境政策課環境資源部環境推進課  
〒112-8502 文京区東目黒1-16-21 文京区環境センター17階 電話 03-5803-1276  
https://www.city.bunkyo.lg.jp/bosai/kankyo/hozen/keihatsu/challenge.html

【令和3年度募集チラシ】

<チャットボットによるごみ分別案内サービス>

平成31年4月より、チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」の運用を開始しました。ごみと資源の分別や収集に関する簡単な質問に、24時間365日AIが自動応答します。

文京区 チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」をご利用ください！

「これって何ごみ？」  
「まだなごみ袋足りそう。文京区資源センターからラケットのゴミ袋を借りたいよ！」  
「ごみ・資源の分別方法が知りたい場合は、「住」のページからごみ袋を借りたいものや名前を教えてください。」  
「ごみ・資源の収集日が知りたい場合は、「暮らし」のページからごみ袋を借りたいものや名前を教えてください。」  
「資源品を売りたい場合は、「資源品回収」のページからごみ袋を借りたいものや名前を教えてください。」

LINE アプリ からアクセス  
区ホームページからアクセス

文京区 環境政策課 資源部リサイクル推進課 電話 03-5803-1195

【チャットボット案内チラシ】

## 分野2 再生可能エネルギー等の利用促進

### 2-1 再生可能エネルギー利用

家庭への再生可能エネルギー等設備の導入支援及び区有施設における再生可能エネルギーの利用検討

### 2-2 先進的なエネルギー利用

水素エネルギーに関する区民・団体、事業者への情報提供・普及啓発、地域における利活用方策の検討及び次世代自動車の活用による電力利用検討

## <2021（令和3）年度の主な取組内容>

### 2-1 再生可能エネルギー利用

- 再生可能エネルギー設備（太陽光発電システム）設置を助成しました。（21件）【環境政策課】
- 文京区立誠之小学校における改築その他工事において、太陽光パネルを導入しました。【学務課】

### 2-2 先進的なエネルギー利用

- 先進的なエネルギー設備（家庭用燃料電池）設置を助成しました。（25件）【環境政策課】
- 東京都の「Tokyoスイソ推進チーム」に参加して、水素エネルギーについて情報収集しました。【環境政策課】
- 水素エネルギーや水素社会のイメージについて、区HPの文京区環境基本計画コラムで紹介しました。また、東京都環境局の高校生向け水素エネルギー教室のチラシを教育センター等へ周知しました。【環境政策課】

### 【周知・啓発】

- 気候変動対策に関するイベント（クールアースフェア）を、区HP上で各出展団体の展示内容を掲載する形式で開催しました。（再掲）【環境政策課】
- 環境学習の機会の提供及び人材の育成・活用として、親子環境教室を6回（延べ76名）、環境ライフ講座を7回（延べ176名）開催しました。（再掲）【環境政策課】
- 次世代を担う子どもたちへの環境教育の推進のため、環境教育教材等を送付しました。（2回）（再掲）【教育指導課】
- 区HPで再生可能エネルギーに関連する東京都等の情報や助成事業を紹介、また、区報に東京都の家庭の太陽光発電で発電された電力等買取募集、再生可能エネルギー電気共同購入の事業紹介を掲載しました。【環境政策課】



3-1 環境に配慮した交通手段

自転車・公共交通機関の利用促進及び自転車利用環境の整備等による運輸部門からの二酸化炭素排出量の削減

3-2 環境に配慮したまちづくり

再開発等に合わせた効率的なエネルギー利用の検討、低炭素建築物の促進及び二酸化炭素を吸収するみどりの創出等によるまち全体のエネルギー効率の向上

<2021（令和3）年度の主な取組内容>

**3-1 環境に配慮した交通手段**

- 区報や区HPで、省エネルギー効果がある移動手段（エコドライブ（急発進をやめる、加減速の少ない運転等））について周知・啓発しました。（再掲）【環境政策課】
- 自転車シェアリング事業、レンタサイクル事業の実施や、自転車利用について区報、区HP、リーフレット等により周知し、文京区自転車活用推進計画の検討をしました。【管理課】
- 区報や区HPで、コミュニティバス「Bーぐる」や電車等の公共交通機関の利用促進を行いました。（再掲）【区民課】【環境政策課】
- 区HPで電気自動車急速充電スタンド設置の情報提供を行いました。（再掲）【環境政策課】
- 自転車レーンの整備に向け、文京区自転車ネットワーク計画を含む文京区自転車活用推進計画の検討を行いました。【管理課】
- 自転車シェアリング事業を実施しました。（文京区年間利用回数711,035回、文京区会員登録数47,186件、サイクルポート数71か所）【管理課】
- 自転車走行空間整備のため、文京区自転車ネットワーク計画を含む文京区自転車活用推進計画の検討と、自転車通行空間ネットワーク計画調整会議へ参加しました。【管理課】
- 自転車走行空間整備として、バリアフリー整備工事を実施しました。（バリアフリー整備工事（区道第841号）目白台一丁目9～18番先 252.1m・（区道第843号）その1 大塚五丁目28～13番先 145.4m）【道路課】
- 総合的な自転車対策の推進を実施しました。（文京区自転車活用推進計画の検討、レンタサイクル事業を実施（電動アシスト自転車50台））【管理課】
- 自転車TSマーク取得費用助成事業（定期的な点検整備、保険加入促進、利用者へのルール・マナーの周知・啓発）を実施しました。（1,597件）【管理課】

**3-2 環境に配慮したまちづくり**

- 低炭素建築物の認定を行いました。（207件）（再掲）【建築指導課】
- 街路灯・保安灯のLED化を実施しました。（426基（累計6,915基））【道路課】
- 都市計画事業である春日・後楽園駅前地区市街地再開発事業（南街区の一部）において、オープンスペースが確保され、緑化が行われました。【都市計画課・地域整備課】
- ポケットパーク・グリーンスポットの整備を行いました。（ポケットパーク15箇所、グリーンスポット21箇所）【みどり公園課】
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導を行いました。（民間88件、公共6件）【みどり公園課】
- みどりのふれあい事業を実施しました。（木のクイズラリー参加人数168人、苗木配布（参加人数137人）・緑のサポートボランティア登録人数50人）【みどり公園課】
- 街路樹・植樹帯の保全を行いました。（区道街路樹42路線、区道植樹帯60路線）【みどり公園課】
- 生垣造成補助を実施しました。（1件）【みどり公園課】
- 保護樹木・樹木の制度による樹木の維持管理支援を行いました。（申請件数33件、助成本数49件、樹林地箇所4か所）【みどり公園課】
- 区HP文京区環境基本計画コラムで、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）・ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を紹介しました。【環境政策課】

### <文京区自転車シェアリング事業>

文京区では、地域・観光の活性化、環境負荷軽減、放置自転車対策など幅広い効果が見込まれる自転車シェアリング事業の実証実験を平成29年1月から開始しました。実証実験において、利用状況、交通行動の変化等を調査した結果、自転車シェアリングが公共交通機関の一部としての役割を担保していることや、事業の持続性が確保できることが確認できたことから、令和2年4月1日より、本格実施に移行しました。

令和4年7月6日現在、電動アシスト付自転車800台、サイクルポート73ヶ所設置し、今後も拡充していきます。（サイクルポートとは、施設や公園などに設置された専用自転車の貸出・返却を行う無人の駐輪施設です。）



出典：文京区 HP

サイクルポート(目白台運動公園)

### <木のクイズラリーイン教育の森公園>

緑化啓発事業の一環である「木のクイズラリーイン教育の森公園」を令和3年11月20日（土曜日）に開催しました。

区内在住・在学の小学生が親子で参加し、教育の森公園とその周辺にある9箇所の樹木を、クイズに答えながらまわりました。当日は天気も良く、参加された74組（168名）が見事全員ゴールすることができました。



出典：文京区 HP

## 分野4 循環型社会の形成

### 4-1 家庭系ごみの3R

生ごみの減量や食品ロス削減、家庭から出る不用品のリユースの促進及び区民等によるリサイクルの取組支援

### 4-2 事業系ごみの3R

ごみ排出に関する事業者への指導や自己処理の促進等の働きかけ及び区有施設における率先的なごみの削減

## <2021（令和3）年度の主な取組内容>

### 4-1 家庭系ごみの3R

- 家庭系ごみにおけるリデュースの推進のため、Bunkyoごみダイエット通信の発行（6月・12月）、食品ロス削減に関する講座をオンライン（Zoom）にて開催しました。【リサイクル清掃課】
- 生ごみ減量活動の推進を行いました。（オンライン（Zoom）生ごみ減量講座 受講者14名、コンポスト化容器あっせんを行い、購入者に補助剤を支給 5件） 【リサイクル清掃課】
- プラスチックごみ削減に向けた取組の普及啓発のため、チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」利用者アンケート&プレゼントキャンペーンにおいて、利用者アンケートに回答した区内在住・在勤・在学者のうち、抽選で40名にマイバックを配布しました。（応募総数208件）【リサイクル清掃課】
- 食品ロス削減に向けた取組として、食品ロス削減事業の紹介や、リサイクル清掃課常設窓口及びイベント時の回収のほか、自宅訪問受取サービスにおいて、フードドライブを実施（食品総回収量約2,614kg）し、1月にモノ・フォーラム(食品ロス削減講座)をオンライン（Zoom）にて実施しました。（7名参加）【リサイクル清掃課】
- 家庭系ごみにおけるリユースの推進のため、3月に子ども服無料頒布会を区民センターで実施しました。（来場者44世帯）【リサイクル清掃課】
- 集団回収の拡充のため、実践団体へ報奨金、回収業者へ支給金を9月・3月に支給しました。（支給額：26,088,764円） 【リサイクル清掃課】
- 資源回収の拡充のため、HPやパンフレット等にて普及啓発を行いました。（粗大ごみの資源化量426,060kg・不燃ごみの資源化量（水銀含有物）44,846kg） 【リサイクル清掃課】

### 4-2 事業系ごみの3R

- 大規模・中規模事業所の3R推進のため、立ち入り指導を行いました。（大規模建築物29件、中規模建築物19件）また、講習会を10月にオンライン（Zoom）にて実施しました。【リサイクル清掃課】
- 小規模事業所の3R推進のため、資源回収袋を購入し支援を行いました。（Rサークルオフィス文京：リサイクルシステム周知用チラシ1,000枚を作成、産業別リサイクル：裁落用紙回収袋（大）を20枚、裁落用紙回収袋（中）を80枚 を購入）【リサイクル清掃課】
- 事業系ごみの自己処理の促進のため、一般廃棄物処理許可業者への立ち入り検査及び指導を行いました。（4件）【リサイクル清掃課】
- 食品ロス削減月間（10月）において、区職員に向けて庁内に啓発ポスターの掲示や庁内放送、庁内電子掲示板で食品ロス削減を周知しました。【リサイクル清掃課】

#### 【周知・啓発】

- 区ホームページ内の「動画で学ぶごみ減量」ページに新たな動画を公開しました。【リサイクル清掃課】
- TwitterやFacebookによる事業の周知を拡大し、区LINE公式アカウントにおいて、ごみ・資源収集日の定期配信を開始しました。【リサイクル清掃課】

- 7月及び11月、2月にステージ・エコを開催、各種資源回収及びフードドライブ、陶磁器製食器類の無料頒布を実施し、11月5日・6日には文京エコ・リサイクルフェアを開催、各種パネル展示を実施しました。(来場者749名)【リサイクル清掃課】
- リサイクル推進サポーターに対して、スキルアップ講座を5月にオンライン (Zoom) にて実施 (参加者8名) し、連絡会を11月に対面にて実施 (参加者15名) しました。また、課主催の講座募集や啓発紙の情報提供を行いました。【リサイクル清掃課】
- リサイクル推進協力店の登録及び取組内容を区ホームページ、リーフレットで紹介しました。(令和4年3月現在41店舗登録)【リサイクル清掃課】
- 事業者の先進的な3Rの取組事例の紹介として、10月に事業用大規模・中規模廃棄物責任者講習会をオンライン (Zoom) で開催しました。(大規模 76名、中規模 43名)【リサイクル清掃課】

### <Bunkyoごみダイエット通信>

リサイクル清掃課では、3Rによる資源の有効活用など、ごみの発生抑制の意識啓発を目的として「Bunkyoごみダイエット通信」を発行しています。

編集・発行：文京区資源環境部リサイクル清掃課 〒112-8555 文京区春日 1-16-21  
TEL: 5803-1135 FAX: 5803-1362 文京区ホームページ: https://www.city.bunkyo.lg.jp/

**ごみダイエット通信 第32号**

1冊 毎月24日18時30分まで、このと題を広く告知し、より3Rの啓発に努めます。2冊 毎月15日18時30分まで、このと題を広く告知し、より3Rの啓発に努めます。

主な内容  
3冊 2-4ページ「家庭ごみ1人1日89g減5そう!」5-6ページ「ごみ削減のヒント」7-8ページ「分別リサイクルのヒント」9-10ページ「分別リサイクルのヒント」

**家庭ごみ1人1日89g減5そう!**

令和3年3月に、ごみ減量や資源化を進めるため、「文京区一般廃棄物処理基本計画(モノプラン2019)(令和3年度-令和12年度)」を策定しました。この計画の最終目標値を達成するためには、区民1人1日当たり89gのごみを減らす必要があります。

**家庭ごみ89gってどれくらい?**

食品ロス (30×40cm)	ペットボトル (500ml)	ティッシュペーパー (4層)	紙コップ (11)	折り紙/色紙/画紙 (A4×2枚)
4g	24g	4g	30g	27g

※注：(文京区一般廃棄物処理基本計画「モノプラン2019」(令和3年度-令和12年度)を参照)

**その1 ごみと資源を正しく分別しよう! 分別リサイクルに挑戦**

私たちが「ごみ」として捨てているものの中には、「資源」としてもう一度利用できるものがあります。可燃ごみ・燃焼ごみ・資源・粗大ごみの中から正しく分別して分別リサイクルに挑戦しましょう!

①携帯電話	②使用済みマスク	③まんが・小説	④シャンプーのボトル容器
⑤かさ	⑥ペットボトル	⑦ピザの箱	⑧自転車

分別リサイクルのヒント  
LINE版 [文京区資源環境部リサイクル清掃課]で検索する。おのの二次コードで検索してください。

区ホームページ版 [区ホームページのリサイクル]で検索する。おのの二次コードで検索してください。

【Bunkyoごみダイエット通信 第32号】

出典：文京区 HP

### <ぶんきょう食べきり協力店>

文京区では食品ロス削減に取り組む店舗を「ぶんきょう食べきり協力店」として登録し、その取組内容をご紹介します。(令和4年5月現在65店舗登録)

**ぶんきょう食べきり協力店**

協力店一覧はこちらをclick!

このステッカーが目印です!

たべものに  
ありがとう、  
ごちそうさま。

小盛り 好み減量 食べきり分け 量りばら売り  
期間限定価格 持ち帰り 一人暮らしメニュー その他  
ぶんきょう 食べきり協力店

文京区 3歳未満キャラクター リリちゃん  
文京区 3歳未満キャラクター イクルちゃん

文京区資源環境部リサイクル清掃課 ☆  
令和4年3月作成

【ぶんきょう食べきり協力店リーフレット】

出典：文京区 HP

### <フードドライブ (未利用品の回収) >

食品ロス (本来食べられるのに捨てられてしまう食品) の削減と資源の有効利用のため、リサイクル清掃課窓口での回収やイベント回収のほか、区内在住で、食品をリサイクル清掃課へ持参することが困難な方向けの自宅訪問受取サービスを実施しています。



出典：文京区HP

**未利用食品あつめます!**  
フードドライブにご協力ください!

フードドライブとは?  
家庭で余っている食品を捨てず、広く地域の福祉施設や施設等に寄付するボランティア活動

回収可能な食品  
○お持ちいただける食品  
○インスタント・レトルト食品  
○乾麺  
○米 (常温で密封されたもの)  
○調味料  
○缶詰 (缶詰は常温で)  
○冷凍食品 (賞味期限が2か月以上ある常備保存可能な食品)

回収できない食品  
×賞味期限が切れているもの (腐敗・変質)  
×賞味期限が2か月未満のもの  
×開封されているもの  
×冷蔵・冷凍・生鮮食品 (肉・魚・野菜など)  
×アルコール飲料 (焼酎・みりんを除く)

受付窓口のご案内

文京区役所 リサイクル清掃課  
文京区セゾンセンター17階南側  
月～金曜日  
午前9時30分～午後5時  
(土日、年末年始を除く)

イベント回収  
イベント日曜は、区画・区ホームページからご確認ください。

自宅訪問受取サービス  
[受付時間] 文京区資源環境部リサイクル清掃課  
[受付時間] 文京区資源環境部リサイクル清掃課  
[受付時間] 文京区資源環境部リサイクル清掃課

文京区 お問い合わせ先：文京区資源環境部リサイクル清掃課 ☎03-5803-1135

## 分野5 気候変動の影響への適応

### 5-1 自然災害対策

道路の治水対策等の推進、ハザードマップ作成や避難誘導対策及び災害対応の体制整備等による区民等の安全・安心確保

### 5-2 健康被害に関する対策

気候変動による熱中症発症数の増加や感染症の発症の可能性等について、区民等への情報提供

### 5-3 暑熱対策

街なかのみどりの確保、遮熱性舗装等の推進、打ち水用品の貸出、クールシェアスポットの提供及び利用促進等による暑さ対策

### 5-4 自然生態系に関する対策

気候変動による生態系への影響や、外来種の侵入・定着等の影響に関する情報収集及び対応策検討

## <2021（令和3）年度の主な取組内容>

### 5-1 自然災害対策

#### <道路の治水対策等>

- 防災ガイドや各種ハザードマップの内容を更新し、区内全戸配布を行いました。【防災課】
- 水防災監視システムが収集した雨量情報や水位情報を災害情報システムにおいても自動収集できるよう、両システムの機能連携を図りました。【防災課】
- 区HPにより、神田川4か所の水位情報及び河川監視カメラの映像、区内6か所の雨量情報を発信しました。【防災課】
- 道路における治水対策を行いました。（透水性舗装 整備施工：3,415㎡ 清掃：31,847㎡、雨水浸透ます 設置：29個 清掃：250個）【道路課】
- 水害用土のうの備蓄及び配布を行いました。（土のう備蓄合計 3,409袋）【道路課】
- 取水貯留槽の指導を行いました。（実績857㎡）【管理課】
- 雨水流出抑制施設の設置に関する指導を行いました。（47件）【管理課】
- 雨水タンク導入設置費助成を行いました。（1件）【環境政策課】
- 崖等整備資金助成を行いました。（2件）【地域整備課】
- 下水道局と工事等の連携をしました。（公共下水道枝線整備工事：445.05m（弥生二丁目付近）、下水道施設整備工事：72.3m（西片二丁目付近））【道路課】

#### <避難誘導対策等>

- 福祉避難所へ避難所開設キットを導入しました。（13か所）【防災課】
- 防災士の資格取得助成を行いました。（13件）【防災課】
- 防災対策の充実・強化に向け、発電機、蓄電池等の非常用電源、パーテーションやプラスチックガウン等の新型コロナウイルス対策物資の配備を行いました。【防災課】
- 区民防災組織等の活動助成及び備品等購入費助成等を行いました。（区民防災組織等の活動助成：32件、備品等購入費助成等：10件）【防災課】
- 避難所運営協議会の防災訓練実施費用の助成を行いました。（7件）【防災課】
- 避難行動要支援者の支援として、要支援者名簿や個別避難計画の作成を行いました。（同意式名簿の登録者数：2,224人 そのうち個別避難計画作成：1,789人）【防災課】

#### <災害対応の体制整備等>

- 事業者等との災害協定を拡充しました。（令和3年度の新規災害協定：13件）【防災課】
- 災害時において、円滑に受援応援業務を実施できるよう区職員に対する研修会を実施しました。【防災課】
- 災害が発生した際、感染拡大防止等のために現地でのボランティアセンターの運営支援が困難な状況においても、遠隔地からできる支援方法を検討するため、被災地でICTを活用し

た運営支援活動の実績がある講師を招き、オンラインで運営訓練を実施しました。【福祉政策課】

- 文京区災害医療運営連絡会を開催しました。また、医師会・歯科医師会・薬剤師会会員を対象としたトリアージ研修を実施するとともに、医療救護所備蓄の医薬品・医療資器材を更新しました。【生活衛生課】

## 5-2 健康被害に関する対策

- 熱中症予防に関し、ポスター・リーフレット・うちわの配布、熱中症警戒アラートによる注意喚起を行いました。【健康推進課】
- 高齢者への熱中症予防に関する普及啓発を行いました。（電話・訪問による啓発：2,984件、出張講座開催回数：32回、参加者：737人）【高齢福祉課】
- 熱中症ゼロプロジェクト作成の啓発リーフレット及びうちわを地域活動センター及び環境関連イベントにおいて配布しました。【環境政策課】
- 幼稚園、小中学校等での熱中症予防対策として、関係通知を送付しました。（6回）【教育指導課】
- クールシェアスポットの提供として、ぶんきょう涼み処を開設しました。（全32か所）【健康推進課】
- 区HPに衛生害虫に関する情報等、感染症予防に関する情報発信を行いました。【生活衛生課】
- 日本脳炎の定期予防接種等、予防接種事業を実施しました。（延べ5,801人）【予防対策課】
- 東京都環境確保条例によりディーゼル車排出ガス規制を実施し、窒素酸化物の排出量削減対策として、事業者の低公害車導入にあたり、適合車種の審査を行いました。【環境政策課】
- 光化学スモッグの原因となるオキシダント抑制のために、原因物質の一つであるVOC(揮発性有機化合物)に対する技術支援に対する啓発を行いました。【環境政策課】

## 5-3 暑熱対策

- 街路樹・植樹帯の保全を行いました。（区道街路樹42路線、区道植樹帯60路線）（再掲）【みどり公園課】
- 保護樹木・樹木の制度による樹木の維持管理支援を行いました。（申請件数33件、助成本数49件、樹林地箇所4か所）（再掲）【みどり公園課】
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導を行いました。（民間88件、公共6件）（再掲）【みどり公園課】
- 生垣造成補助を行いました。（1件）（再掲）【みどり公園課】
- ポケットパーク・グリーンスポットの整備を行いました。（ポケットパーク15箇所、グリーンスポット21箇所）（再掲）【みどり公園課】
- クールシェアスポットの提供として、ぶんきょう涼み処を開設しました。（全32か所）（再掲）【健康推進課】

## 5-4 自然生態系に関する対策

- 身近な場所に生きものを呼べる緑化の推進をしました。（関口台公園、本郷給水所公苑）【みどり公園課】
- 街路樹・植樹帯の保全を行いました。（区道街路樹42路線、区道植樹帯60路線）（再掲）【みどり公園課】
- 保護樹木・樹木の制度による樹木の維持管理支援を行いました。（申請件数33件、助成本数49件、樹林地箇所4か所）（再掲）【みどり公園課】
- 文京区みどりの保護条例に基づく緑化指導を行いました。（民間88件、公共6件）（再掲）【みどり公園課】
- 生垣造成補助を行いました。（1件）（再掲）【みどり公園課】
- 神田川水系水質監視連絡協議会を開催しました。（4回）【環境政策課】
- 外来種の捕獲を行いました。【環境政策課】
- 文の京生きもの写真館（区ホームページ）で、季節の生きものアルバム春夏・秋冬版を掲載

し、区内動植物の情報発信をしました。【環境政策課】

○自然散策会を開催しました。(3回)【みどり公園課】

○山村体験交流事業(川遊びや里山トレッキング、稲刈り体験等)を実施しました。(やまびこ荘5回、魚沼市観光協会3回)【区民課】

### 【周知・啓発】

●区報、区HP及び市内放送で、文京版クールアース・デーのテーマ「まちなかの暑さ対策」について周知しました。【環境政策課】

●気候変動対策に関するイベント(クールアースフェア)について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区HP上で各出展団体の展示内容を掲載する形式で開催しました。(再掲)【環境政策課】

●環境学習の機会の提供及び人材の育成・活用として、親子環境教室を6回(延べ76名)、環境ライフ講座を7回(延べ176名)開催しました。(再掲)【環境政策課】

### <避難所開設キット>

災害が起きた直後は混乱や人員不足等が想定されます。そのような状況において「参集した誰もが」、「躊躇なく」、「実働できる」ことを目的に、区内33か所すべての避難所に「避難所開設キット」を導入しました。



避難所開設キット外観



ふたを開けると「はじめにやること」のケースが目立つように収納されています。



ケース下段には各班の手順書等が収納されています。

出典：文京区 HP

### <季節の生きものアルバム>

生物多様性を身近なものとして理解し、浸透・定着を図るため、「文の京生きもの写真館」をホームページ上に開館し、区内動植物の写真(静止画像)を募集しました。

※写真の募集は終了しています。



出典：文京区 HP

## 4. 本計画の進捗状況

### 4.1 進捗評価方法

本計画の進行管理にあたり、長期的にモニタリングしていく指標を設定し、アクションプランの進捗状況を把握しています。

アンケート結果等により現状値を求め、将来の目安値達成への進捗評価を行いました。

表 4-1 進捗評価方法

	現状の評価
達成の見込み有	◎
達成まで引き続き行動が必要	○
達成まで更なる行動が必要	△

### 4.2 進捗結果

2021（令和3）年度における評価可能な12指標のうち4指標において達成の見込み有、6指標で達成まで引き続き行動が必要、達成まで更なる行動が必要な指標は2指標となりました。

省エネルギーの推進について「庁内CO<sub>2</sub>実排出量（床面積:100m<sup>2</sup>当たり）」は目安値を達成しましたが、前年度の2.83 t-CO<sub>2</sub>から0.52 t-CO<sub>2</sub>増加しています。「地球温暖化に関する意識向上率」は区民、事業者ともに計画策定時よりも向上しておらず、より一層の向上を図る必要があります。

スマートシティの推進は「自転車シェアリング利用回数」は登録会員数の増加や連携区全体でのサイクルポートの増加により、計画策定時よりも2倍以上の増加となりました。

「コミュニティバス利用者数」は令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による外出者の減少により例年より減少しましたが、令和3年9月末より新しい路線（本郷・湯島ルート）の運行が開始したことや、外出者が増加したことにより回復しています。

循環型社会の形成について、「区民1人1日当たりの総排出量」は昨年度と同じ897(g/人日)となり、「区民1人1日当たりの家庭ごみ排出量」は昨年度の367(g/人日)から6(g/人日)減少となりました。

気候変動の影響への適応について「熱中症救急搬送人員数」は基準年度より減少しています。地域防災力（活動助成率）は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、助成金を活用して訓練を実施する組織が減少しています。

透水性舗装路線数・雨水浸透柵数は、道路改修の工事にあわせて改良しています。



## ＜進行管理指標＞

分野	指標	計画策定時 (2018年度)	現状 (2021年度)	評価	将来の目安 (2030年度)
1 省エネルギーの推進	地球温暖化に対する意識向上率（区民）	91%	87%	○	100%
	地球温暖化に関する意識向上率（事業者）	89%	89%	○	100%
	庁内 CO <sub>2</sub> 実排出量 (床面積:100 m <sup>2</sup> 当たり)	4.17 t-CO <sub>2</sub>	3.35t-CO <sub>2</sub>	○	3.10 t-CO <sub>2</sub>
2 再生可能エネルギー等の利用促進	区内再生可能エネルギー設備導入量	4,134 kW	4,826kW	○	4,953 kW
3 スマートシティの推進	コミュニティバス利用者数	933,503 人	820,190 人	△	現状より増加
	自転車シェアリング利用回数	345,211 回	711,035 回	◎	現状より増加
	緑被地面積	207.4 ha	— ha <sup>※1</sup>	—	214.5 <sup>※2</sup>
	緑被率	18.4%	— % <sup>※1</sup>	—	19 <sup>※2</sup>
4 循環型社会の形成	区民 1 人 1 日当たりの総排出量 <sup>※3</sup>	958g/人日 (2019年度)	897g/人日	○	747
	区民 1 人 1 日当たりの家庭ごみ排出量 <sup>※3</sup>	358g/人日 (2019年度)	361g/人日	○	269
5 気候変動の影響への適応	地域防災力（活動助成率）	68 件	62 件	△	現状より増加
	透水性舗装路線数	5 路線 <sup>※4</sup>	7 路線 <sup>※4</sup>	◎	現状より増加
	雨水浸透ます数	18 個 <sup>※4</sup>	29 個 <sup>※4</sup>	◎	現状より増加
	熱中症救急搬送人員数	94 名	42 名	◎	現状より減少

※1 複数年に1回の統計のため、本年度調査対象外

※2 「文京区みどりの基本計画」に合わせて目標年度を2029年度とします。

※3 「文京区一般廃棄物処理基本計画（令和3年3月策定）」に基づく数値とし、基準年度を2019年度とします。

※4 各年度内に新たに工事または設置した数

## 5. アンケート結果

区では、本計画の進捗状況を測るための手段の一つとして、区民、事業者、団体に取組状況等のアンケート調査を実施しています。主なアンケート結果を示します。なお、集計結果は端数処理の関係により、合計が100%とならないことがあります。

### ＜アンケート調査の概要＞

	区民	事業者	団体
対象	・18歳以上の住民基本台帳登録者1,200人 (住民基本台帳から年齢別人口比率抽出)	・大規模事業者(業務部門)32事業所 (都条例による指定(特定)地球温暖化対策事業所) ・中小規模事業者(業務部門)500事業所 (商用データベースをもとに層別抽出)	・区内で環境活動等を行っている14団体
調査項目	・回答者の属性 ・地球温暖化対策に向けた行動について ・地球温暖化問題に関する意識・認知度について ・生物多様性に関する意識・認知度について	・回答者の属性 ・地球温暖化対策に関する行動について ・地球温暖化問題に関する意識・認知度について ・生物多様性に関する意識・認知度について	・回答者の属性 ・地球温暖化対策に関する行動について ・地球温暖化問題に関する意識・認知度について
回収率	24.8% (296/1195※)  ※2015年度実施時は34.0% ※2016年度実施時は35.0% ※2017年度実施時は29.9% ※2018年度実施時は30.5% ※2019年度実施時は34.3% ※2020年度実施時は31.8% ※2021年度実施時は28.4%	28.1% (146/519※) 大規模事業者53.1%(17/32※) 中小規模事業者26.5% (129/487※)  ※2015年度実施時は38.1% ※2016年度実施時は37.5% ※2017年度実施時は31.8% ※2018年度実施時は31.8% ※2019年度実施時は29.2% ※2020年度実施時は28.5% ※2021年度実施時は35.7%	42.9% (6/14)  ※2015年度実施時は43.5% ※2016年度実施時は66.7% ※2017年度実施時は63.2% ※2018年度実施時は71.4% ※2019年度実施時は64.3% ※2020年度実施時は50.0% ※2021年度実施時は33.3%
実施時期	2022年5月27日発送 6月14日投函〆切		
発送回収方法	調査票の郵送・WEB回収		
送付資料	・依頼文 ・調査票 ・普及啓発チラシ(「地球温暖化対策に関する区の助成等のご紹介」「文の京生きもの図鑑」「ナジシール(区民のみ)」)		

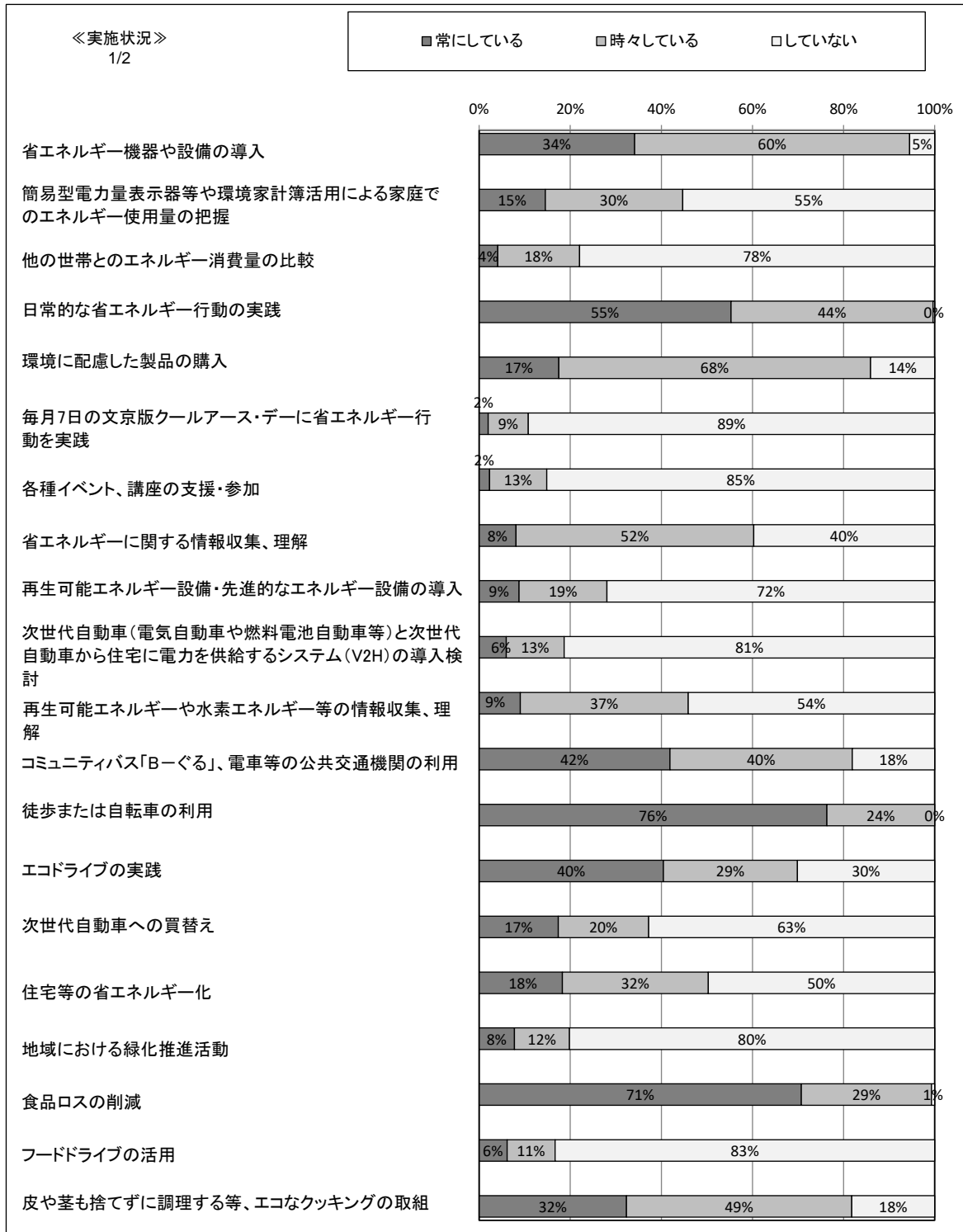
※宛先不明で返却された分は、母数から除外している。

## 5.1 区民

### (1) 地球温暖化対策に向けた行動

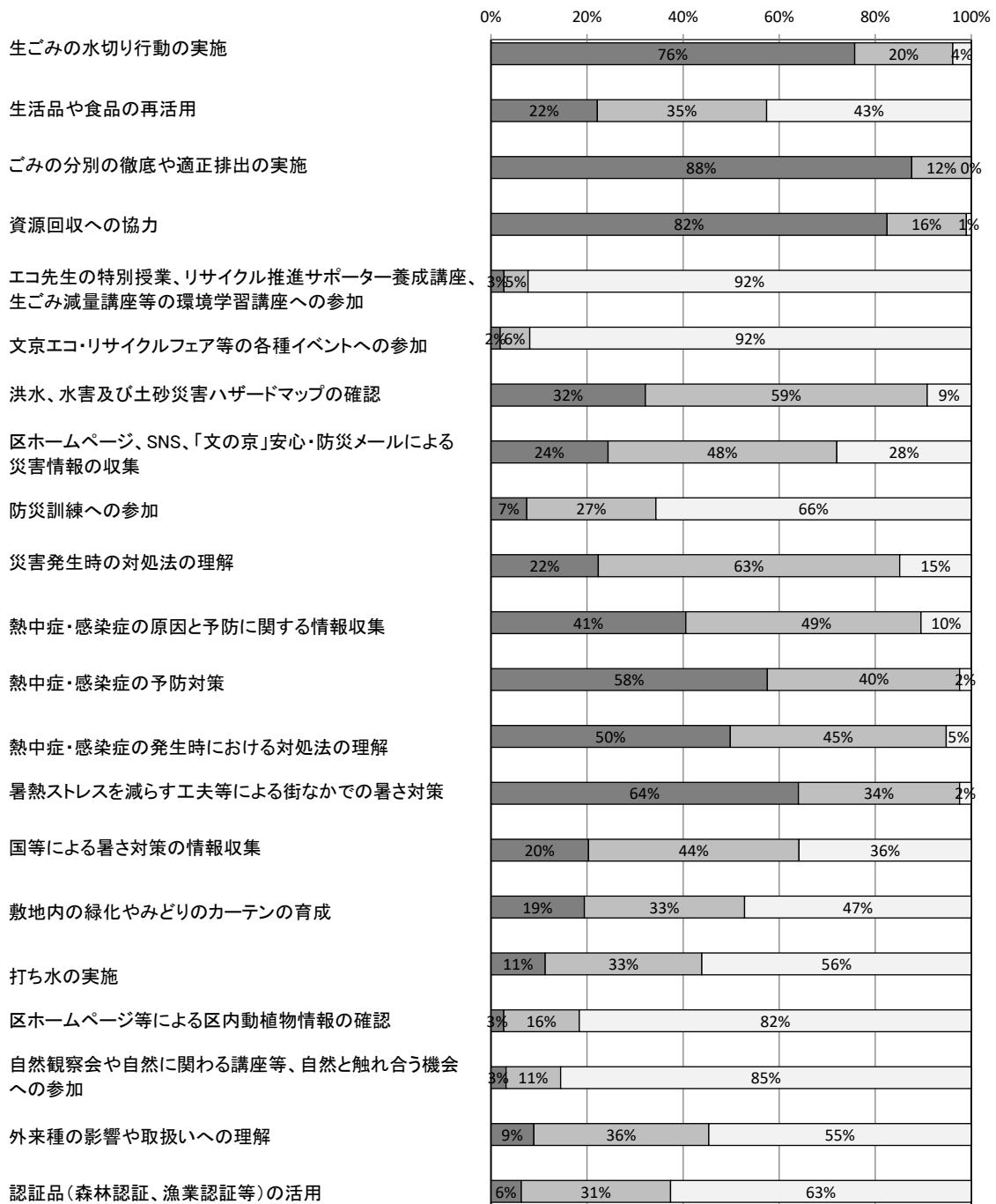
実施率（「常にしている」、「時々している」の合計）について、9割以上の実施率となっているものが、下記12項目存在している。

（「省エネルギー機器や設備の導入」、「日常的な省エネルギー行動の実践」、「徒歩または自転車の利用」、「食品ロスの削減」、「生ごみの水切り行動の実施」、「ごみの分別の徹底や適正排出の実施」、「資源回収への協力」、「洪水、水害及び土砂災害ハザードマップの確認」、「熱中症・感染症の原因と予防に関する情報収集」、「熱中症・感染症の予防対策」、「熱中症・感染症の発生時における対処法の理解」、「暑熱ストレスを減らす工夫等による街なかでの暑さ対策」。）



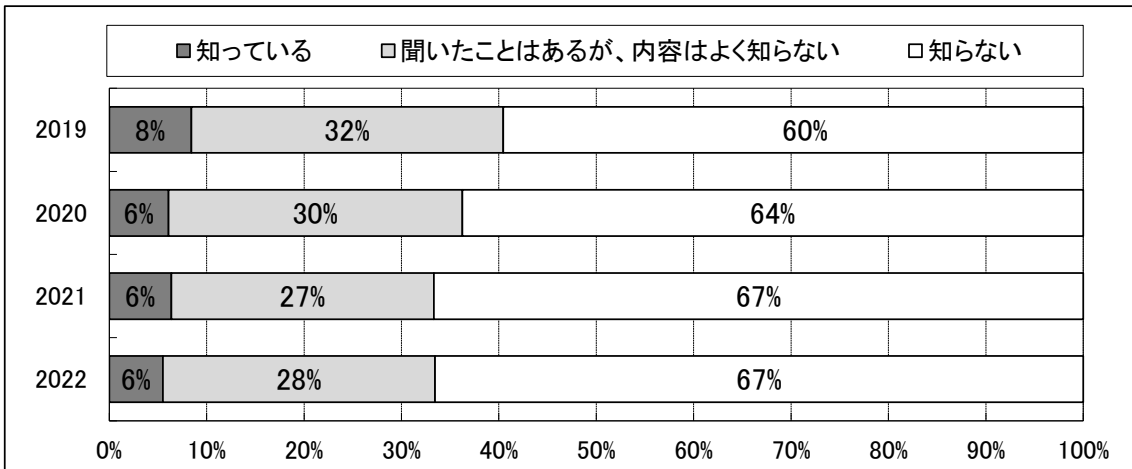
《実施状況》  
2/2

■常にしている □時々している □していない



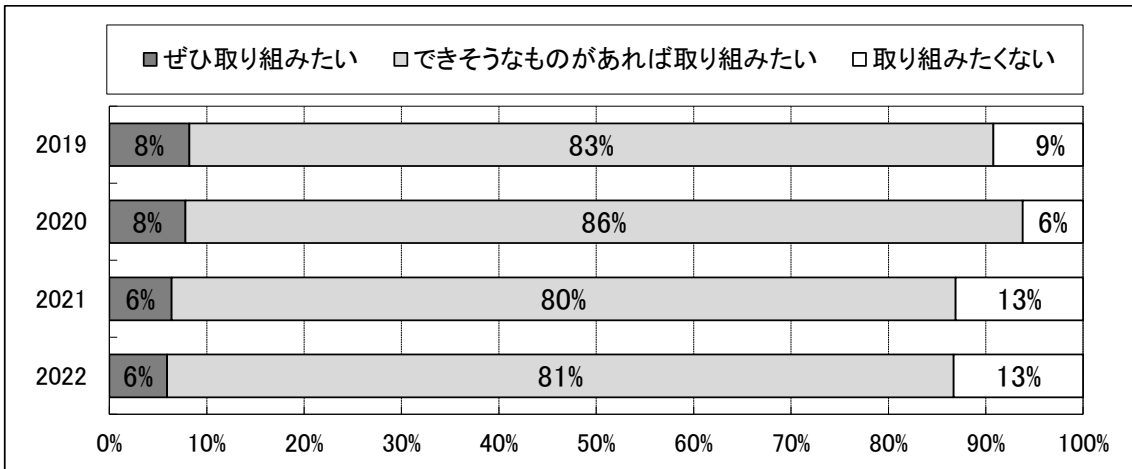
(2) 「文京区地球温暖化対策地域推進計画」の認知度

「知っている」の割合が1割未満と低い。「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を加えても認知度は3割程度にとどまる。経年的に見ても、前年度と比べ認知度はほぼ横ばいである。



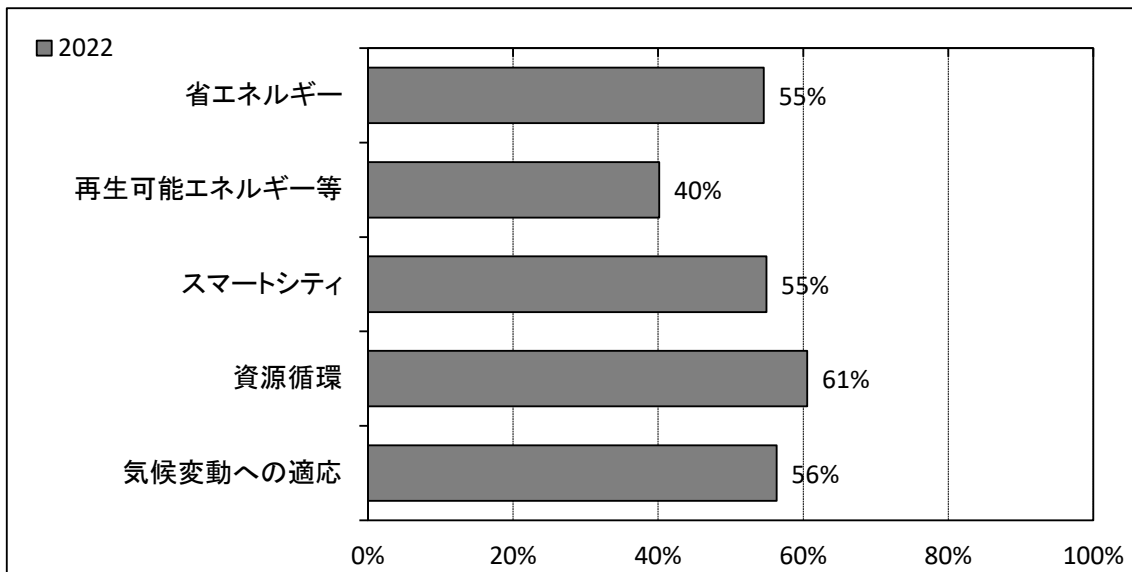
(3) 地球温暖化対策の行動（アクションプラン）に関する取組意識

「ぜひ取り組みたい」、「できそうなものがあれば取り組みたい」を合計した割合は、9割程度で高い取組意識度を維持しているが、経年的に見ると前年度とほぼ変わらない。



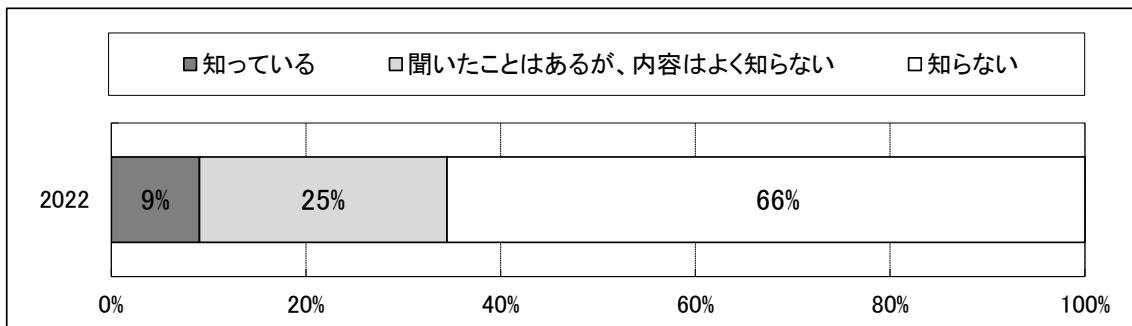
(4) 今後の地球温暖化対策として興味・関心がある分野について

「省エネルギー」、「スマートシティ」、「資源循環」、「気候変動の適応」の割合が 5 割以上と高く、「再生可能エネルギー等」が 4 割となっている。



(5) 2050年「ゼロカーボンシティ」の表明について

「知っている」の割合は 1 割未満と低く、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を合計しても 3 割程度と認知度は低い傾向にある。



## 5.2 事業者

(1) 地球温暖化対策に関する行動

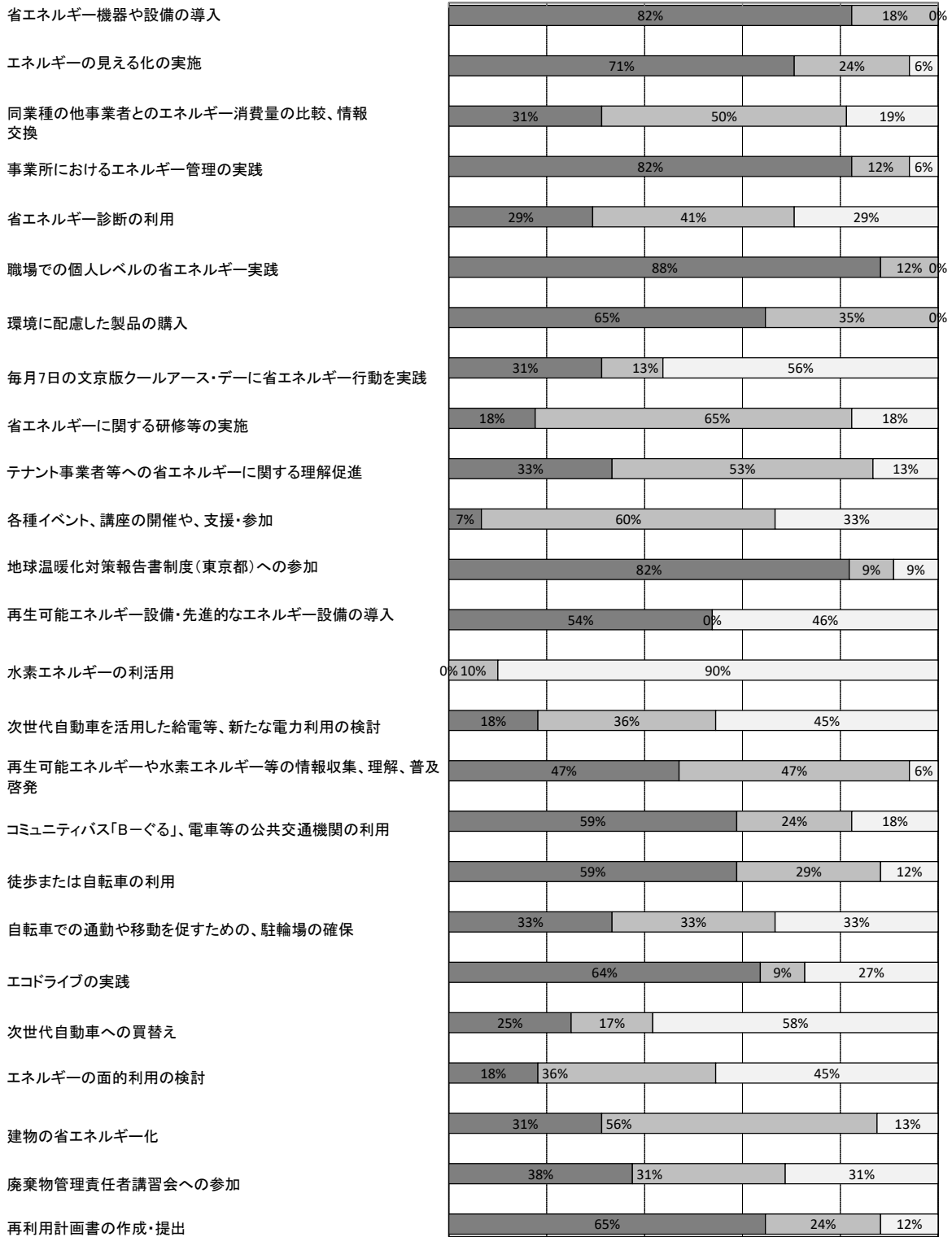
実施率（「常に行っている」、「時々している」の合計）について、9 割以上の実施率となっているものが、下記 18 項目存在している。

（「省エネルギー機器や設備の導入」、「エネルギーの見える化の実施」、「事業所におけるエネルギー管理の実践」、「職場での個人レベルの省エネルギー実践」、「環境に配慮した製品の購入」、「地球温暖化対策報告書制度（東京都）への参加」、「再生可能エネルギーや水素エネルギー等の情報収集、理解、普及啓発」、「再生品の利用」、「ごみの分別の徹底」、「有害廃棄物や産業廃棄物等の適正処理の実施」、「資源回収への協力」、「災害発生時の対処法の理解」、「災害協定の締結」、「熱中症・感染症の原因と予防に関する情報収集」、「職場における熱中症・感染症の予防対策」、「熱中症・感染症の発生時における対処法の理解」、「暑熱ストレスを減らす工夫等による街なかでの暑さ対策」、「国等による暑さ対策の情報収集」。）

《大規模 実施状況》  
1/2

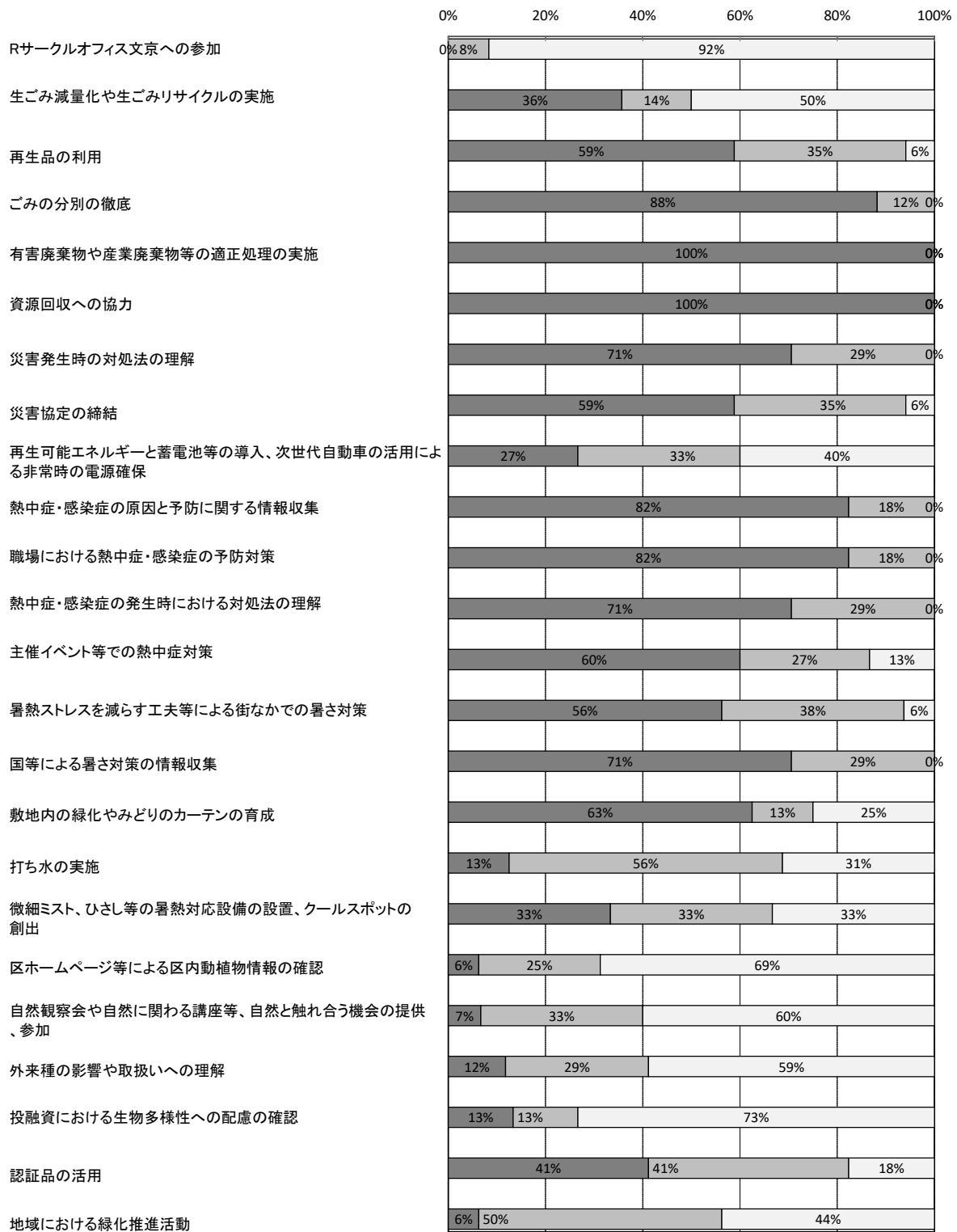
■ 常にしている □ 時々している □ していない

0% 20% 40% 60% 80% 100%



《大規模 実施状況》  
2/2

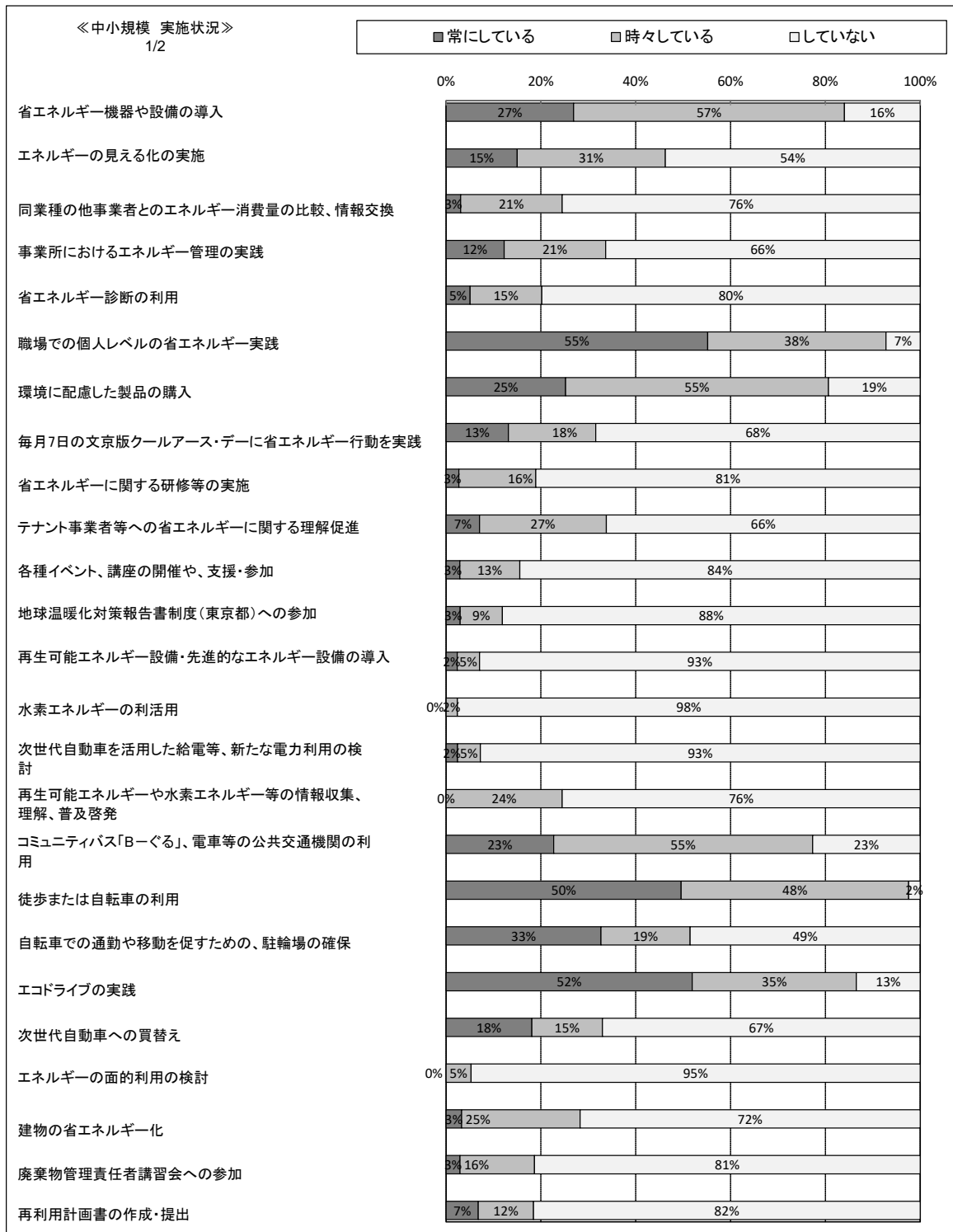
■ 常に行っている □ 時々している □ していない





実施率（「常にしている」、「時々している」の合計）について、9割以上の実施率となっているものが、下記10項目存在している。

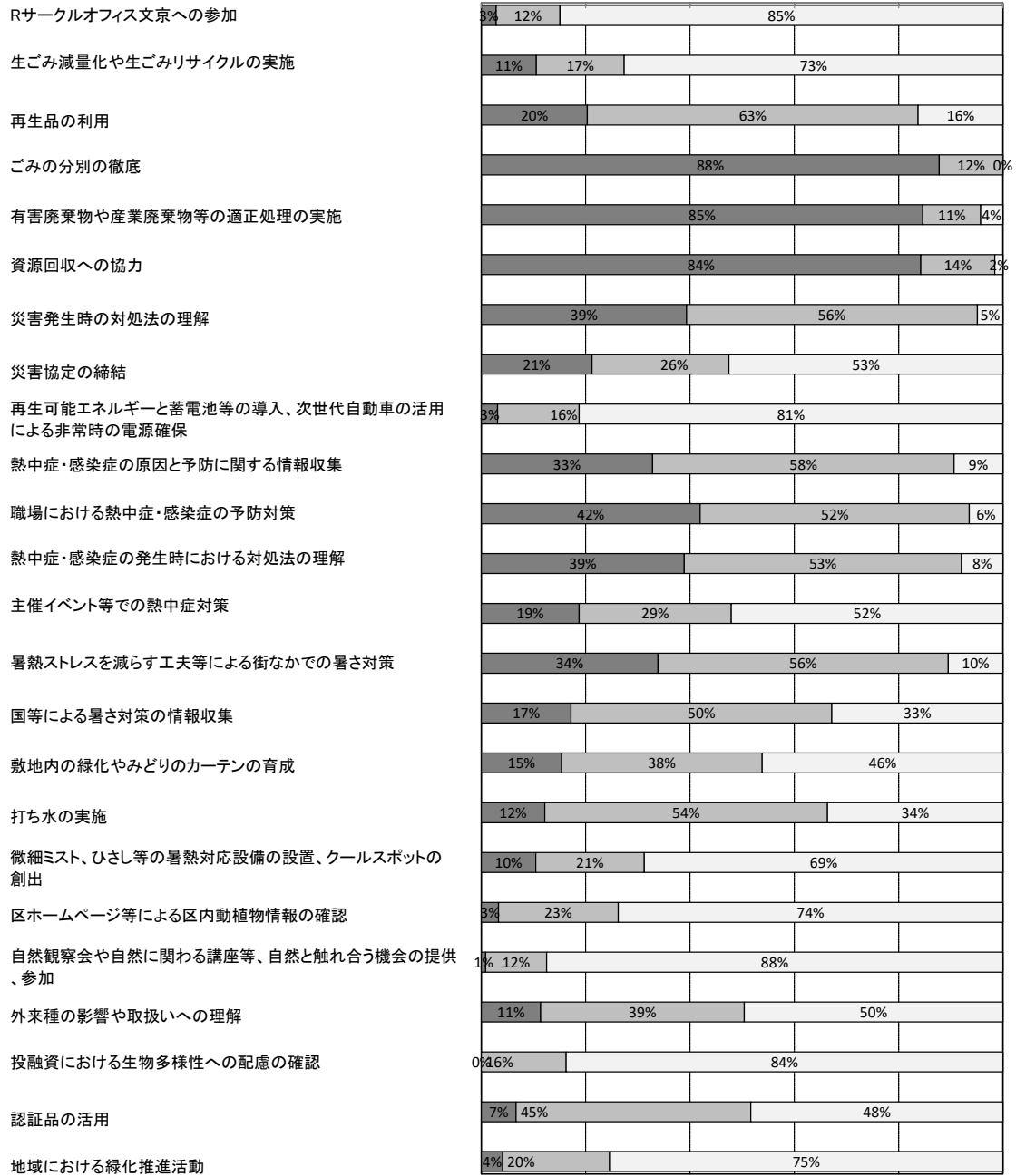
（「職場での個人レベルの省エネルギーの実践」、「徒歩または自転車の利用」、「ごみの分別の徹底」、「有害廃棄物や産業廃棄物等の適正処理の実施」、「資源回収への協力」、「災害発生時の対処法の理解」、「熱中症・感染症の原因と予防に関する情報収集」、「職場における熱中症・感染症の予防対策」、「熱中症・感染症の発生時における対処法の理解」、「暑熱ストレスを減らす工夫等による街なかでの暑さ対策」。）



《中小規模 実施状況》  
2/2

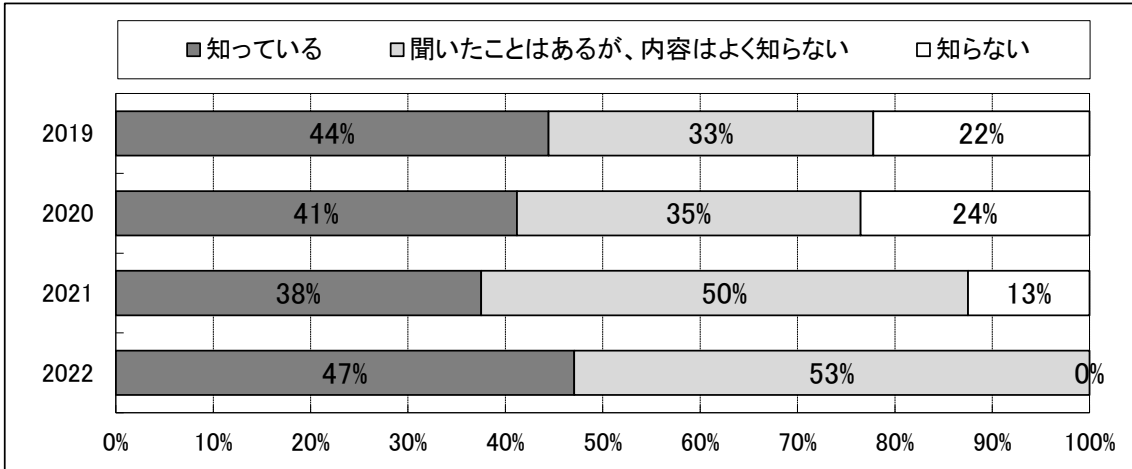
■常にしている □時々している □していない

0% 20% 40% 60% 80% 100%

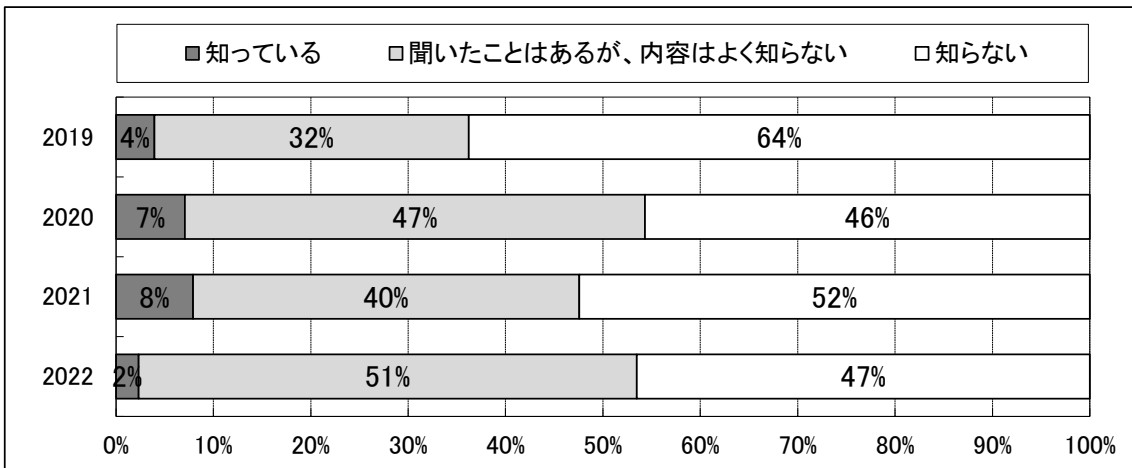


(2) 「文京区地球温暖化対策地域推進計画」の認知度

大規模事業者では「知っている」の割合が 5 割程度で、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を合計すると 10 割となっている。経年で見ると、前年度よりも認知度は上昇している。

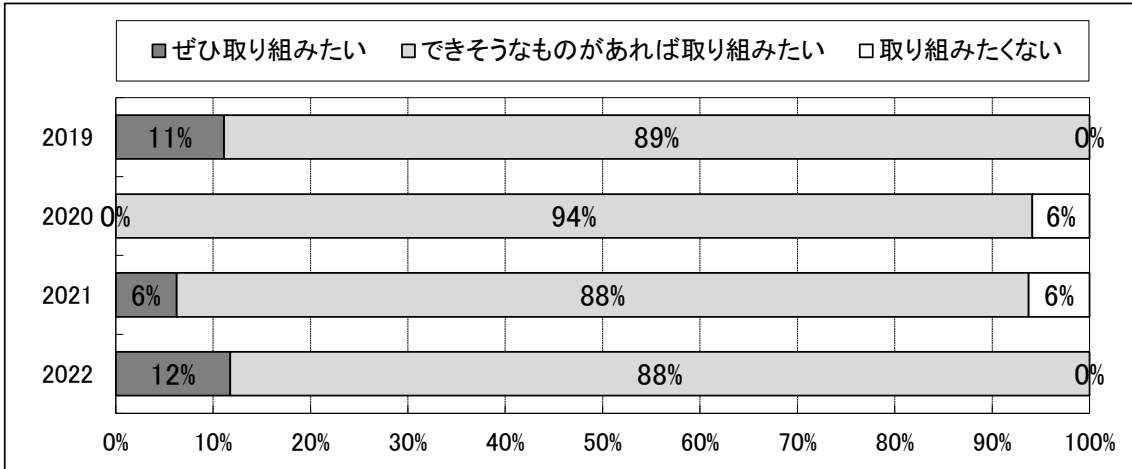


中小規模事業者では「知っている」の割合が 1 割未満で認知度は低く、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を合計すると 5 割程度となっている。経年で見ると前年度よりも認知度は増加したが、「知っている」の割合が小さくなっている。

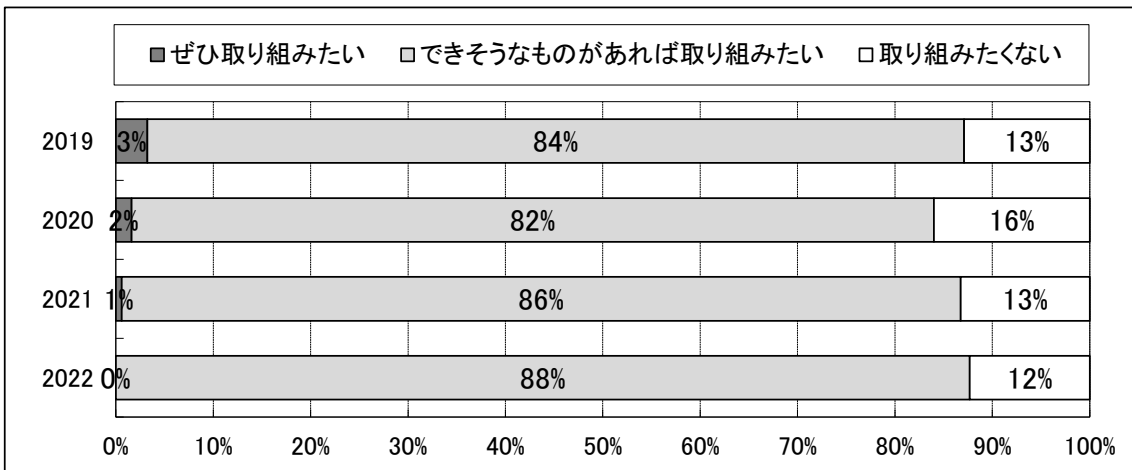


(3) 地球温暖化対策の行動（アクションプラン）に関する取組意識

大規模事業者では「ぜひ取り組みたい」、「できそうなものがあれば取り組みたい」の合計が 10 割と、経年的に見ても高い取組意識を維持している。

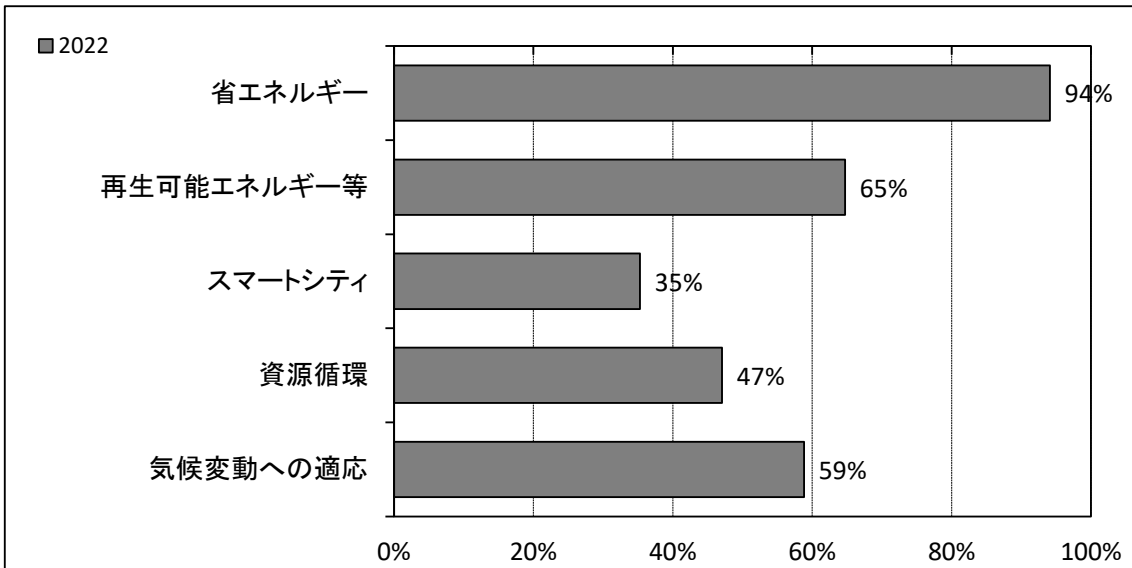


中小規模事業者でも、「ぜひ取り組みたい」、「できそうなものがあれば取り組みたい」を合計すると 9 割程度で、同様に高い取組意識を維持している。

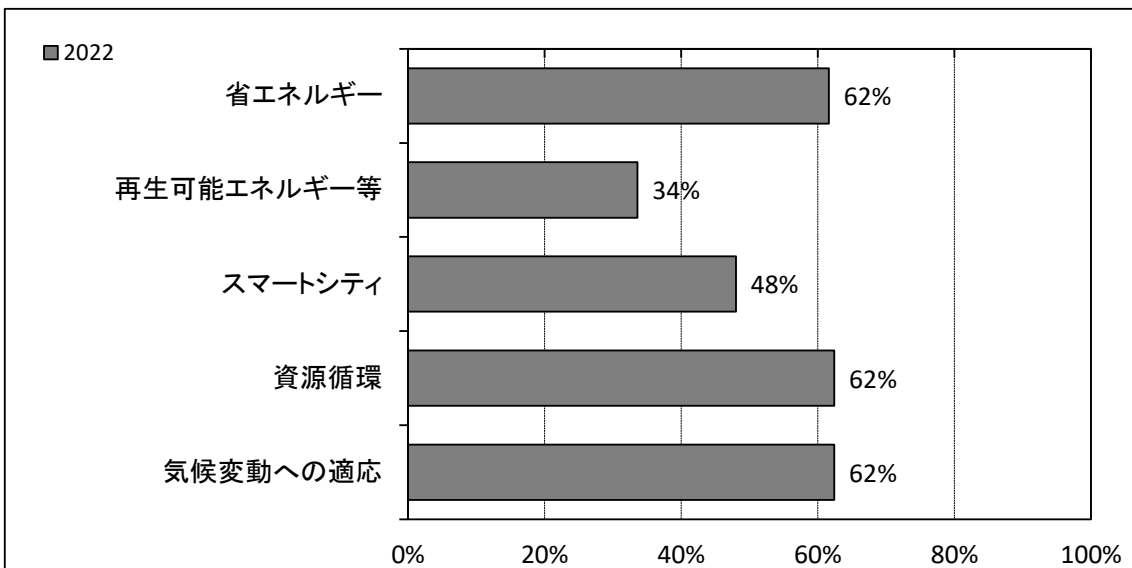


(4) 今後の地球温暖化対策として興味・関心がある分野について

大規模事業者では、「省エネルギー」の割合が9割以上と最も高く、次いで「再生可能エネルギー等」が7割程度、「気候変動の適応」、「資源循環」が5割程度～6割程度となり、「スマートシティ」が4割程度と最も低くなっている。

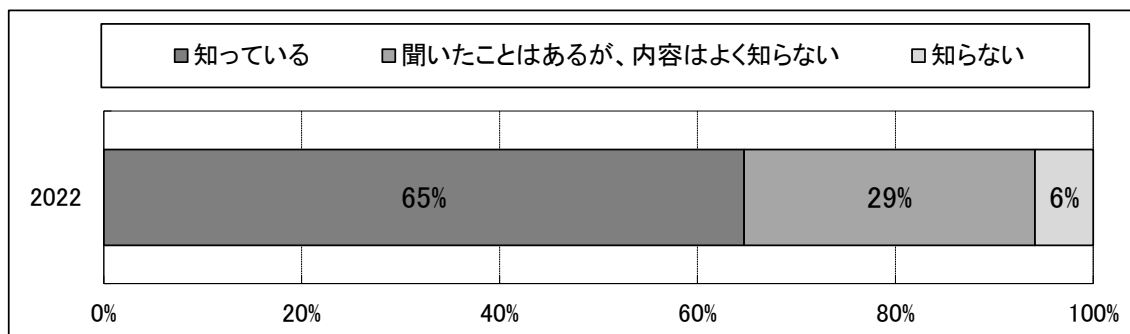


中小規模事業者では、「省エネルギー」、「気候変動の適応」、「資源循環」が6割程度、次いで「スマートシティ」「再生可能エネルギー等」、が3割程度～5割程度となっている。

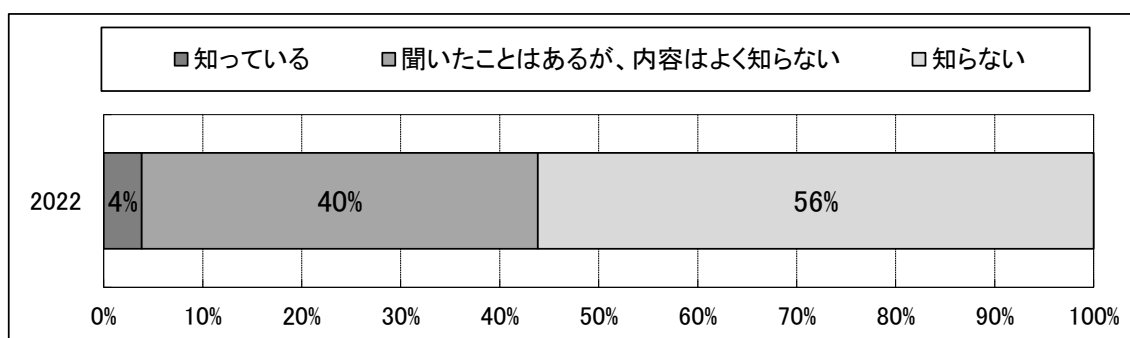


(5) 2025年「ゼロカーボンシティ」の表明について

大規模事業者では、「知っている」、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」の合計は9割以上を占め、認識率は高い傾向にある。



中小規模事業者では、「知っている」、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」の合計は4割程度にとどまっている。



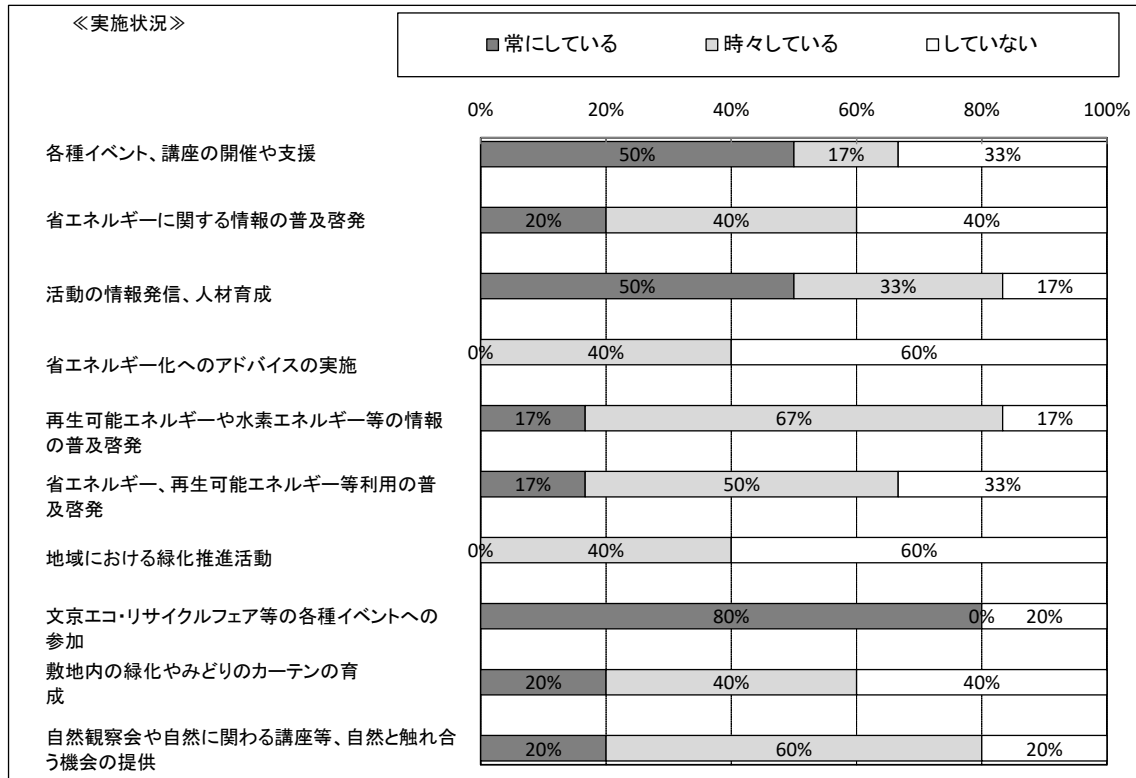
### 5.3 団体

#### (1) 地球温暖化対策に関する行動

実施率（「常にしている」、「時々している」の合計）が8割以上と高いものが4項目あり、以下の通りである。

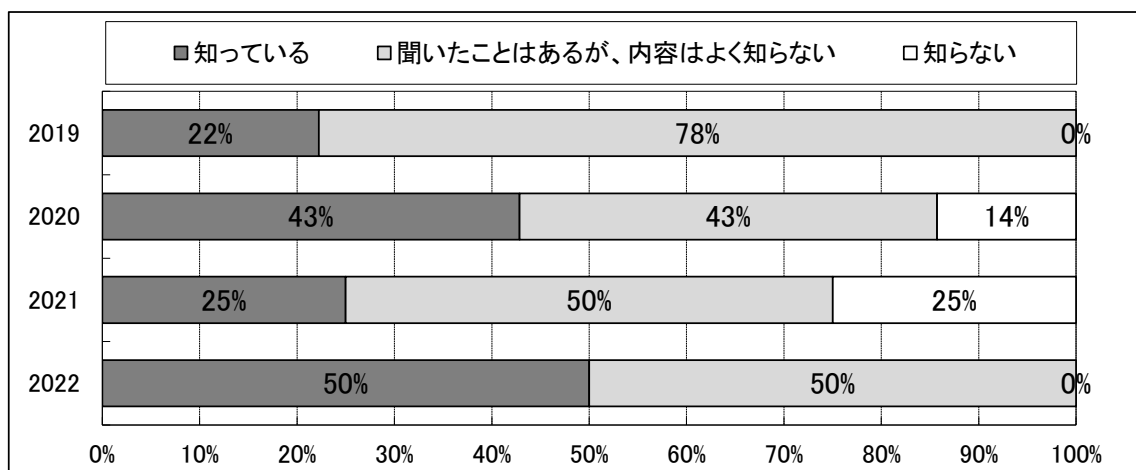
（「活動の情報発信、人材育成」、「再生可能エネルギーや水素エネルギー等の情報の普及啓発」、「文京エコ・リサイクルフェア等の各種イベントへの参加」、「自然観察会や自然に関わる講座等、自然と触れ合う機会の提供」）

「省エネルギー化へのアドバイスの実施」「地域における緑化推進活動」は4割にとどまっている。



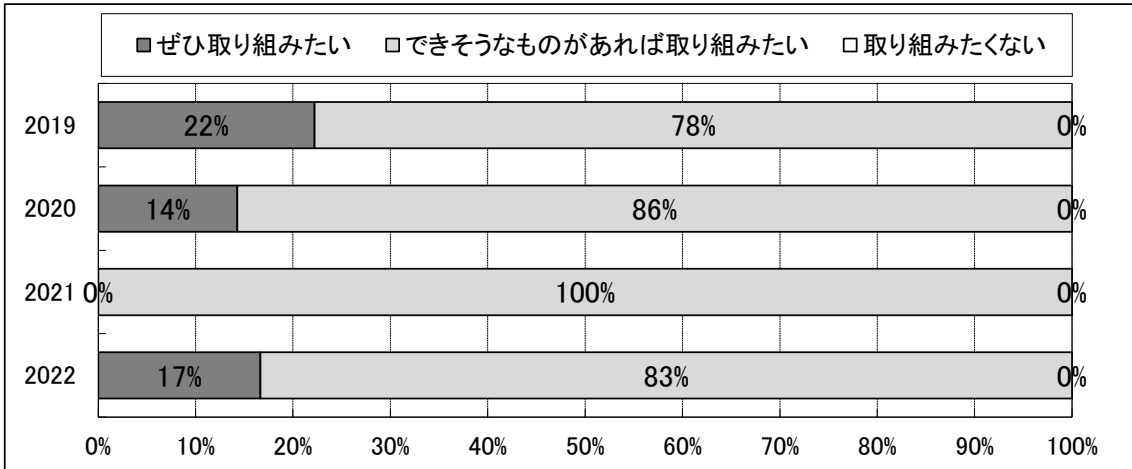
#### (2) 「文京区地球温暖化対策地域推進計画」の認知度

「知っている」の割合が5割、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を合計すると10割となっており、経年的にみると前年度より認知度は高くなっている。



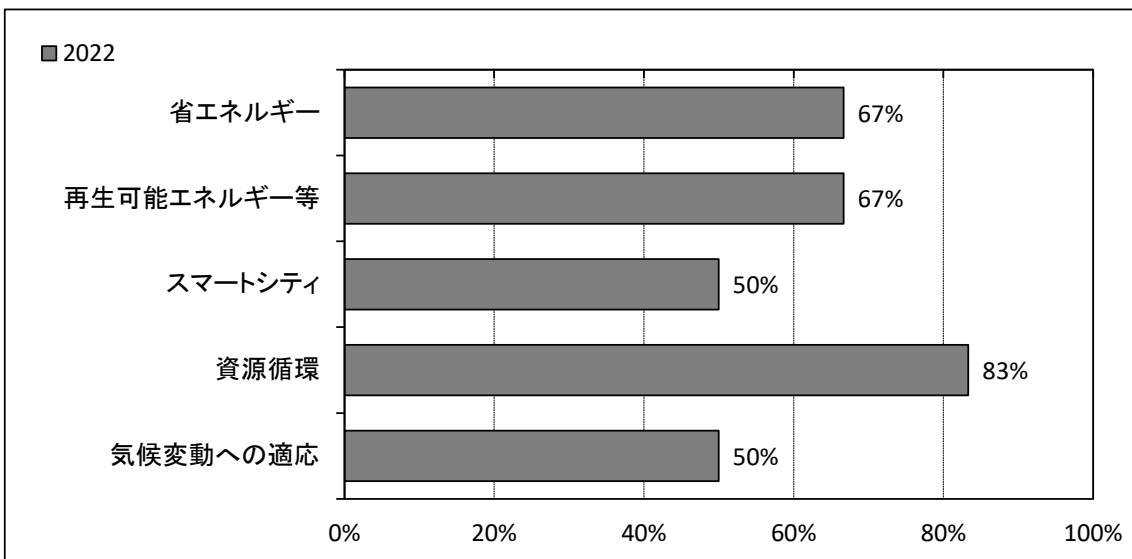
(3) 地球温暖化対策の行動（アクションプラン）に関する取組意識

「ぜひ取り組みたい」、「できそうなものがあれば取り組みたい」の合計で10割となっており、意識の高さが伺える。



(4) 今後の地球温暖化対策として興味・関心がある分野について

「資源循環」の割合が8割以上と最も高く、次いで「省エネルギー」「再生可能エネルギー等」が7割程度、「スマートシティ」「気候変動への適応」が5割となっている。



(5) 2050年「ゼロカーボンシティ」の表明について

「知っている」が4割となっており、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」を合計しても6割にとどまっている。

